

太陽有限責任監査法人

HP: <https://www.recruit.gtjapan.or.jp/> (リクルートサイト)

Twitter: @Taiyo_Recruit

リクルートサイト



Twitterアカウント



太陽有限責任監査法人は、グラントソントンインターナショナルのメンバーファームです。
グラントソントンインターナショナルとそのメンバーファームは、世界規模のパートナーシップ組織ではありません。
それぞれのメンバーファームは、独立してサービスを提供しています。

Grant Thornton Taiyo LLC is a member firm within Grant Thornton International Ltd ("Grant Thornton International").
Grant Thornton International and member firms are not a worldwide partnership. Services are delivered by the member firms independently.
©2020 Grant Thornton Taiyo LLC All rights reserved.

Go Beyond Your Limit

Go Beyond Your Limit

限界の先に、未開の成長がある。

太陽監査法人は、成長を続けるプロフェッショナル集団です。

変革が求められる監査業界において、

大手と中小の長所を兼ね備えたミッドサイズファームとして異彩を放つ私たち。

そのユニークさは、個々の公認会計士が組織の垣根を越えて、

縦横無尽に得たい能力・経験を得られる環境・風土を生み出しています。

人財を育てる上で私たちが重視しているのは、

「成長できるかどうか」はもちろん、「どのように成長できるか」。

自分が目指したい方向性を見出す。定めたゴールまでのロードマップを描く。

そして、働き方を選びながらキャリアを築くことができます。

多様な知見を有するゼネラリストを目指すのも、

特定の領域に長けたスペシャリストを目指すのも、あなた次第です。

ぜひここで「無限に成長できる自由」を手に入れてください。



CONTENTS

Chapter 1 成長メソッド

太陽だからこそ築けるキャリア	07
Special feature 01 / 私が成長できた理由「部門レスな働き方」	08
Special feature 02 / 私が成長できた理由「IPO業務」	10
Interview 01 / コミュニケーション担当制度	12

Chapter 2 ワークスタイル

Cross talk 01 / 若手VOICE	15
Cross talk 02 / 女性座談会	18
Close up 01 / 在宅での働き方	22

Chapter 3 各種支援制度

キャリアプラン	25
Close up 02 / 目的別・職階別研修プログラム	26
Close up 03 / 業務効率化への取り組み	27
Interview 02 / 国際業務・海外駐在	28
Close up 04 / グローバル人財支援制度	29
Close up 05 / 子育て支援制度	30
Close up 06 / 福利厚生制度・CSR活動	31

Chapter 4 業務内容

監査業務・IPO業務	33
パブリック・国際業務	34
金融業務・アドバイザー	35
1年間の業務スケジュール	36

Chapter 5 太陽監査法人とは

太陽監査法人の強み	39
グラントソントシインターナショナル(GTIL)とは	40
施設紹介	42
拠点情報	44
Cross talk 03 / 地区事務所職員座談会	46
法人概要	50
グループ会社	51
総括代表社員挨拶	52

Chapter.1

成長メソッド

- 07 太陽だからこそ築けるキャリア
- 08 Special feature 01 / 私が成長できた理由「部門レスな働き方」
- 10 Special feature 02 / 私が成長できた理由「IPO業務」
- 12 Interview 01 / コミュニケーション担当制度

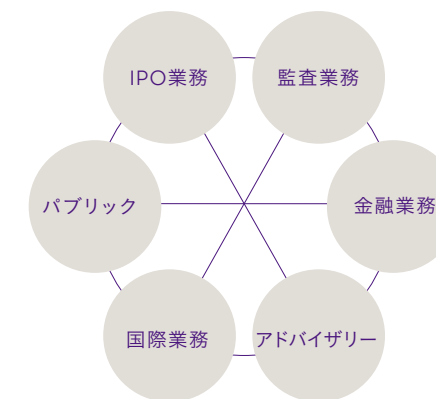


太陽だからこそ築けるキャリア

Point

上場会社数国内第4位の規模でもあえてこだわる「部門レス」な働き方

太陽監査法人は、大手に迫る規模の集団でありながら、あえて業務ごとに部門を設けていません。それは、縦割りの組織体制では難しい「部門レス」な働き方を可能にするためです。複数の業務を同時に担当できる等、「Go Beyond Your Limit」をスローガンに個々人の希望に応じた成長を後押ししています。



→ P8 私が成長できた理由 Vol.1

Point

大多数のスタッフが強い会社づくりで指導的機能を担う「IPO業務」に関与

国内第4位の上場実績（2021年度実績）を誇る「IPO業務」に、ほとんどのスタッフが携わっていることも特徴の一つです。上場審査をパスすることに留まらず、強い会社づくりのためのプロセスをクライアントと共に歩むことで、成長のスピードを加速させています。

→ P10 私が成長できた理由 Vol.2

IPO実績社数 **17** 社
国内第 **4** 位
(2021年度)

Point

若手スタッフの成長をリードする「コミュニケーション担当制度」を導入

太陽監査法人では、キャリアサポートの一環として「コミュニケーション担当制度」を導入しています。若手スタッフの相談役を経験豊富な役職者が務め、希望するキャリアの実現に向けて、二人三脚で成長をサポートします。



→ P12 コミュニケーション担当制度

Special feature 01

成長メソッド

私が成長できた理由 / 「部門レスな働き方」



自分の「Limit」を引き上げられる。

多種多様な業務を経験できるからこそ、

「グループ制」がもたらす キャリア

私の入所時から比較すると、太陽は飛躍的な成長を遂げました。上場クライアント数や業務収入、人員規模は、当時の2倍以上に拡大しています。法人としての成長を考えれば、もしかしたら組織を「部門制」に編成し、監査種別や業種別といった縦割りで区切るほうが効率的な場合があるかもしれません。しかし、それを選択しないところに太陽の良さがあると思います。「グループ制」を導入することで、どのグループに所属していても、上場会社等を対象とした一般的な監査業務をはじめ、IPO、パブリック、金融、国際といった業務に携わることが可能になります。日頃感じるのは、以前にも増して職員の成長やキャリアを重視しているという太陽の意思です。多種多様な業務で得た経験は、成長とともに会計士としての活躍の場を必ず広げてくれます。自分の興味や関心を発見し、将来のキャリアを自由に選択していく。そのアクションを法人として後押しできることに、太陽が「部門レス」な組織であり続ける一番の理由があると思っています。

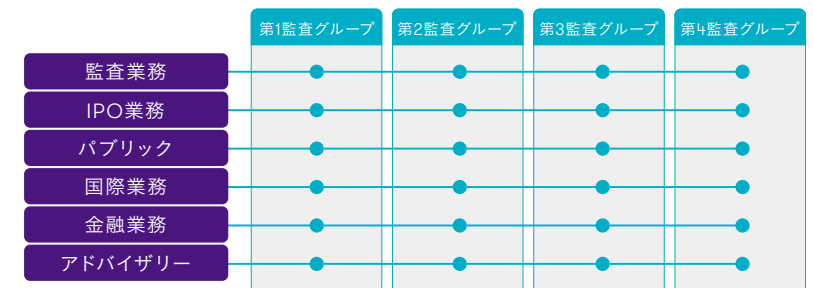
様々な経験がスキルに変わり 会計士としての「価値」になる

就職活動時、私は国際業務に興味をもっていました。しかし、漠然とした興味だったので、就職先を決める軸にしてよいものか

一般的な組織体制（部門が分かれている）



太陽監査法人の組織体制（部門レス）※東京事務所



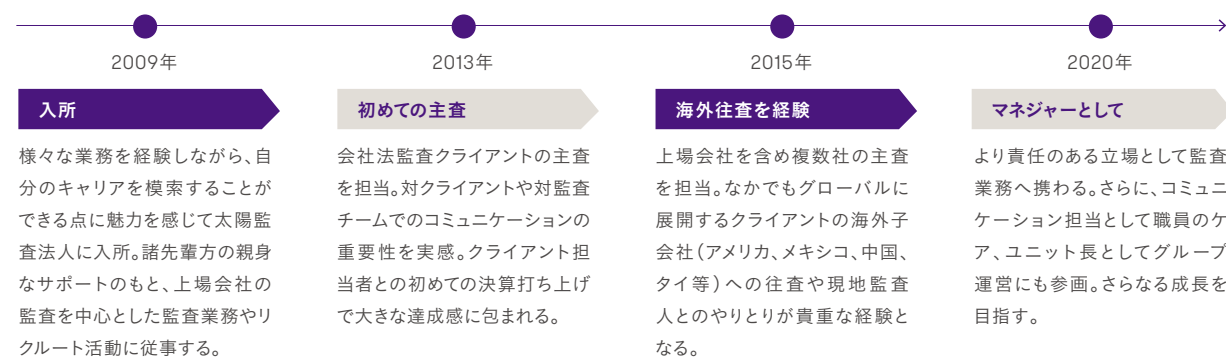
と悩んでいました。そんな中、参加した太陽の説明会で聞いたのが、「部門レス」な働き方ができるという話でした。目の前が一気に晴れ渡ったことを今でも鮮明に覚えています。実際、私は太陽に入所してから、上場会社等の法定監査を中心に、IPO業務、パブリック、金融業務、国際業務に関与させてもらいました。法定監査を経験した業種も、製造業、建設業、不動産業、情報通信業、サービス業と多岐にわたります。それぞれの監査において、クライアントが抱えている課題や状況は千差万別です。それぞれの監査において、クライアントが抱えている課題や状況は千差万別です。そうした経験の中で身に付いた様々な知見は、特定分野でのみ役に立つものではありません。知見を総動員しながら

目の前のクライアントと向き合うことで、会計士としての更なる価値を提供できる。そう考えています。

太陽だからこそ発揮できる 「好奇心」

様々な業務に自ら積極的にチャレンジできる風土や制度も、太陽にはしっかりと根付いています。例えば、コミュニケーション担当制度です。職員一人一人に付く担当者に、自身のキャリア形成について希望を伝えれば、その情報をしっかりと吸い上げ、実際の業務に反映するために働きかけてくれます。また、周囲にも様々な業務に関与している方が大勢います。実際の業務について話を聞くことができ、そのことを機に新たな興味が沸くことも少なくありません。監査においては、懐疑心をもつことが大事ですが、好奇心も非常に大事です。太陽に入所された暁には、自分の“Limit”を決めつけることなく、好奇心を存分に発揮して業務にチャレンジしてください。そして、理想とする会計士像を描いて欲しいと願っています。現在の私は、グループ運営等に携わるようになりましたが、まだまだ飛躍を遂げたいと思っています。一緒に成長していきましょう。

CAREER



Special feature 02

成長メソッド

私が成長できた理由 / 「IPO業務」

「早く成長させてくれる。」

「本物の会計士」へと

若手にも託されるIPO業務が、

入所する監査法人に求めた「条件」

未来の日本経済を支えるIPOマーケットで活躍したい。そのためにも、経営者の目線で企業を見ることができる会計士になりたい。そう考えていたので、一早く現場責任者を経験でき、IPO業務にも関与できる監査法人を探していました。また、監査業務だけではなく、アドバイザリー業務を通じて経営者に直接アドバイスを行い、直に相談される存在になりたいという想いもありました。太陽に入所して15年目を迎えますが、自分の思い描いていたキャリアを形成することができています。IPO業務は、税務ベースで行われている会計処理の扱いや、内部統制の整備や運用などについて助言を行うなど、指導的機能をより発揮する必要があります。上場会社の監査現場で経験を積み、企業のあるべき姿を数多く学んできたからこそ、的確なアドバイスができる今の自分があると思います。証券会社や必要に応じて投資家と協議が必要なケースも多く、IPO業務でなければ話す機会をもてない方々との接点もあるため、今後も会計士として業務の幅を広げられると期待しています。



「企業」の成長を通じて「会計士」としての成長を実感

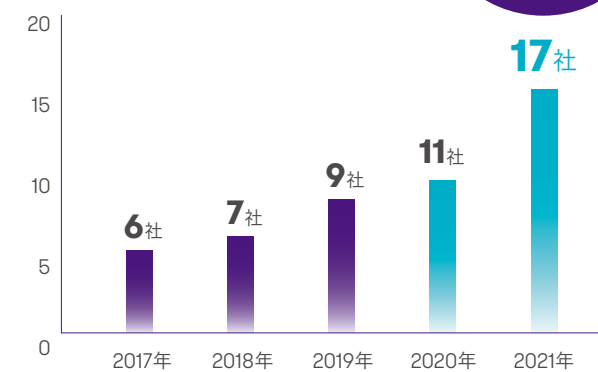
現在日本を代表する有名企業も初めはスタートアップ企業から、IPOを経て、今の日本経済を支える企業にまで成長しています。IPO業務を通じて今後の日本経済を支える企業を輩出していく支援ができるということは、社会的役割期待の大きい業務だと思います。IPOを目指す企業は、経営者や社員の年齢が比較的若く、活気に溢れており、上場という一つの目標に向かって一緒に頑張ろうと意欲が自然と湧いてきます。経営者から直接多くの相談を受け、同じ目線をもってビジネス戦略やリスクを考えてアドバイスできることは、大きなやりがいであり言葉に表せません。次々と革新的なテクノロジー、商品

サービス、ビジネスモデルが生まれており、それらをマネタイズした企業が今後も数多く出現するでしょう。どのような戦略で成長していくのか、プロセスを間近で感じることができるのもIPO業務の魅力です。企業の成長を支援できることは、会計士として成長を遂げる大きな糧になりますし、国民経済の発展にも寄与することができますと考えています。

なりたい自分を描ける「高い自由度」

決算書だけの監査をしていては、価値ある本物の会計士とは言えない。企業経営に関わる会計以外の領域についても知見をもち、的確にアドバイスできる必要がある。そう私は考えています。企業経営やガバナンスのあり方、ステークホルダーが求めることを理解できる。大きな成長が見込めるマーケットや産業に対して、嗅覚をもちながら経済全体を俯瞰できる。このような能力を身につける上でもIPO業務は非常に有効だと思います。太陽では、上場会社から金融、パブリックまであらゆる業界に監査を通して関わることができます。海外で経験を積みたければ、18カ国24拠点に広がるジャパンドeskに駐在することも可能です。私は、自由度の高い監査法人こそ最も成長できると考え、太陽を選びました。なりたい会計士像を思い描きながら、自身のキャリアプランに基づいて業務を選択できる。このような監査法人は他にはないと思っています。ぜひ皆さんも太陽で、価値ある本物の会計士を目指してください。

IPO実績社数

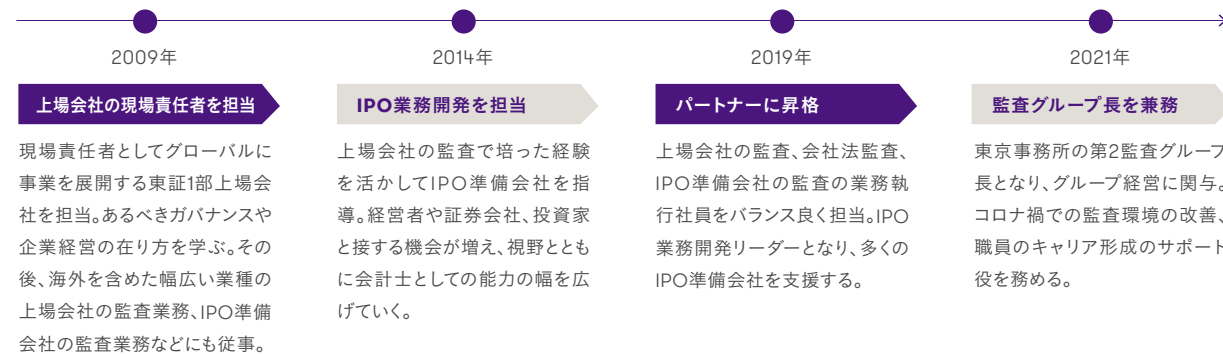


IPO実績社数 17社
国内第 4 位
(2021年度)

石川 資樹

2007年入所 / 東京事務所 パートナー

CAREER



Interview 01

One to Oneでキャリア構築に伴走する コミュニケーション担当制度

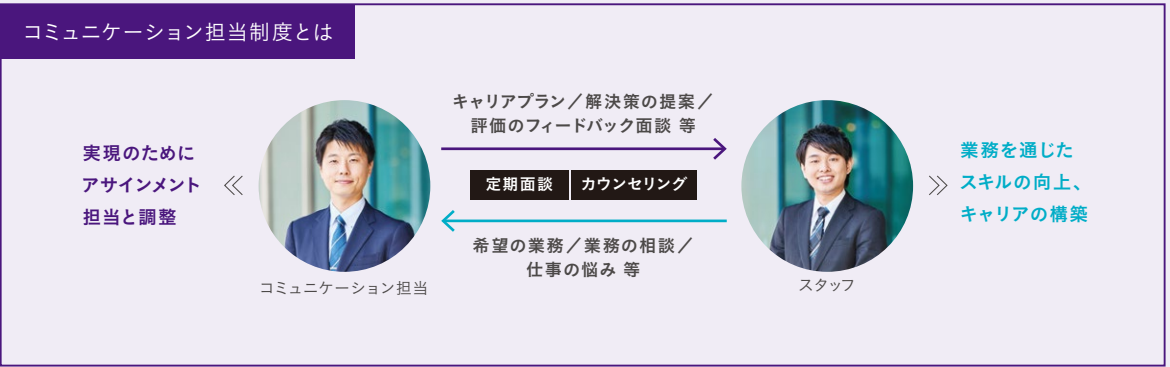
コミュニケーション
担当

悩みを抱え込む前に
相談することが、
成長のスピードを上げる
ポイントです。

スタッフ

アドバイスのおかげで
課題をすぐに解決でき、
キャリアアップできています。

各職員に担当者が付き、仕事の悩みなどをカウンセリングする「コミュニケーション担当制度」。
入所1年目から、パートナーに就くまで、キャリア支援が続くことも制度の特徴の一つです。
どのようなコミュニケーションが交わされているのか、ひと組の事例を紹介します。



Cross Talk

年次やキャリアに合わせて個々が望む成長を支援



山村 正昭
2013年入所 / 東京事務所 マネジャー

— お二人の関係性を教えてください。

齋野 私のコミュニケーション担当である山村さんとは同じ業務グループに所属しており、直属の上司にあたります。監査現場で顔を合わせることもあり、私の仕事ぶりや性格についてもよくご存じです。

山村 担当者は日常的にコミュニケーションをとるためにも、原則として業務を共にする者が務めることになっています。半年に一度ミーティングの機会を持ち、本人が関与する監査現場の主査とも情報を共有しています。

齋野 現場や事務所で会う機会が少なくなると、電話や社内のチャットで「最近どうですか?」と頻繁に連絡をくださいます。

山村 齋野さんは真面目な性格で責任感が強い分、悩みを一人で抱え込みがちです。だからこそ気軽に相談でき、頼りやすい存在でありたいと意識しています。

— どのような相談をされていますか?

齋野 4年目を迎えましたが、将来の道筋がまだ定まっていないこともあり、キャリアプランについて相談させていただくことが多いです。

山村 齋野さんは、年次的に現場責任者を務める案件が中心になりつつあります。ただ、一人の会計士として経験や視野の幅を広げた方が将来の道筋を探りやすいので、スタッフという立場で関与できる案件やクライアントを増やしてはどうかといった助言をしています。

齋野 私と同じ年次の頃の実体験や他の職員の方々の事例など、様々な観点からアドバイスを与えてくださるので非常に有り難いです。

山村 私は齋野さん以外の職員のコミュニケーション担当も

務めています。キャリアに関連する相談内容は多岐にわたります。関与したい業種や業務、望む働き方や勤務地など、個々の希望に応じて助言し、実現に向けてアサインメント担当と調整を図っています。

— 成長できていると感じますか?

齋野 成長できていることは確かです。当初はビジネスに関する理解が浅く、クライアントの信頼を得る上でも改善すべき課題でした。山村さんのアドバイスのおかげで、会計基準に当てはめて商流を理解する大切さや、知識を常にアップデートする必要性に気づきました。

山村 そうした変化が伝わってきますし、各現場から届く評価コメントを見ても成長を遂げていることがわかります。

齋野 現場責任者を務めたことで見つかった課題もあります。現場の円滑なコントロール、チーム内でのコミュニケーションなど、山村さんが実践されてきた手法や経験をお聞きできることも成長に繋がっています。

山村 現在はリモートワークが中心なので、現場責任者には以前に増してマネジメントスキルが求められていると感じます。その意味でも、コミュニケーション担当が本人の立場でキャリア形成をサポートすることが大切だと考えています。

齋野 今後の監査業界で活躍するためにも、高い付加価値をもち、自分のブランドを築いていきたいと思っています。引き続きサポートをよろしくお願いします。

山村 もちろんです。齋野さんはますます伸びていく成長過程にあります。何でも気軽に相談してください。



齋野 湧
2018年入所 / 東京事務所 スタッフ

Chapter. 2

ワークスタイル

15 Cross talk 01 / 若手VOICE

18 Cross talk 02 / 女性座談会

22 Close up 01 / 在宅での働き方

Cross talk 01

ワークスタイル

若手VOICE

若手が期待する“働き方”とは 求める“成長実感”とは

リモートワークの普及によって働く環境が変化し、
成長しやすい働き方や、成長に対する実感も変わりつつあります。
若き会計士は、どのように監査法人を選び、どんな現在地に立っているのか。
実態や胸の内を入所1・2年目の3人に語り合ってもらいました。



阿部 陽

2年目(J2) / 東京事務所 スタッフ

大阪府出身。2021年3月入所。元美容師という異色の経歴を持つ。税法や経済に対する興味の高まりから会計士への転身を決意。3年間の受験勉強を経て試験に合格し、入所1年目から多様な業務に関与。



古田 真弓

1年目(J1) / 東京事務所 スタッフ

神奈川県出身。2021年12月入所。資格を活かせる職業に憧れ、会計に関する職業の広がり的魅力を感じて公認会計士資格の取得挑戦を決意。大学の3年次に論文式試験に合格し、学生非常勤として入所。



降旗 直樹

2年目(J2) / 東京事務所 スタッフ

神奈川県出身。2021年3月入所。大学の社会科学部に進学後、簿記の面白さを知り、会計ゼミを活用しながら資格試験合格を目指す。入所後は監査業務に携わりながらリクルート活動にも関与。

太陽だからこそ叶えられる働き方

―― まずは太陽に入所を決めた理由を教えてください。

古田 論文式試験に合格後、大手から中小まで幅広く監査法人の就活イベントに参加しました。その中で太陽に感じた魅力は、海外で活躍する道もある規模感や、様々な業務に関与しながら働けることでした。入所してからやりたいことを見つけられますし、将来の可能性も広がると思いました。

阿部 私も、経験を積みながら進路を決めていきたいと考えていたので、部門レスな働き方ができる点に惹かれました。また、太陽が今後ますます発展していく中で、法人と同じ歩幅で自分も成長できると思いました。

降旗 阿部さんは大手への入所も考えましたか？

阿部 大手の説明会にも参加しましたが、関与したい部門や業種を入所前に絞る必要があったため、大手ではなく、様々な業種・業務に関与できる太陽に決めました。

降旗 私は太陽の雰囲気や働く方々の人柄の良さに惹かれました。それを感じたのは、予備校主催の合同説明会に参加し、太陽のプレゼンテーションを目にした時です。職階や年次を超えた職員の方々による活発な対談の様子から、自分の意思が反映されやすい監査法人だと思いました。

古田 私も就職活動中、職員の皆さんと対面でお話をする機会がありました。人間的にも魅力的な方が多いと感じましたし、その印象は入所後も変わりません。

反映されやすい個々の望み

―― 希望していた業務に関与できていますか？

古田 現在は週2、3回のリモート勤務ですが、その中でも様々な業種に携わりたいとお伝えしたところ、建設業、ソフトウェア業、コンサルティング業、飲食業の会社に関与させていただいています。

降旗 入所して間もないのに4社とは多いですね。阿部さんはいかがですか？

阿部 この1年間で15社ほどですね。パブリック、IPO、金融など、入所時の面談で希望した業務には全て関与させていただきました。

降旗 太陽では四半期ごとにアサインを組み直すので、希望が反映されやすいですね。

阿部 おかげで今後注力していきたい業界も見えてきました。

古田 それはどんな業界ですか？

阿部 私の前職でもある美容業界です。美容室チェーンを運営するクライアントに関与し、一層関心を持ちました。会計士の視点から前職を見られる点に面白さを感じています。

降旗 私も入所から現在に至るまで、希望した業務に携わることができています。間接業務であるリクルート活動もその一つで、入所当初からやりがいを感じていました。

わきあいあいと語り合える文化

―― 話しやすい・相談しやすい環境だと思いますか？

古田 関与しているチームの主査の方をはじめ、皆さんフランクで話しやすいです。上下関係を意識させないフラットな関係性が根付いていると思います。1年目なので相談したいことが次々と出てきますが、メールやチャットで質問するとすぐに返信があるので業務が滞ることはありません。

阿部 入所した頃、先輩に「リモートワークに不安を感じています」と話したことがありました。すると、主査の方から「明日事務所で集まりましょう」と連絡をいただき、チーム全員で顔を合わせる機会をつくってくださいました。

古田 私のチームでも、「リモートが不安なら対面で行う時間も作りますよ」と主査の方が選択肢を与えてくださいました。

阿部 不安がすぐにキャッチアップされるので、安心して働けますよね。

降旗 上席者の方に共通していえるのは、自ら声を掛けてくださることですね。それは、パートナーの方も例外ではないと思います。

古田 そうですね。皆さんとてもフランクで親しみやすさを感じます。

降旗 パートナーとスタッフがわきあいあいと語り合うのは、太陽の創業時からの文化だと聞いたことがあります。

古田 月に一度、上席者の方と交流できるオンラインサロンも開かれていますよね。自由参加形式で、質問したいことを事前にメールでお伝えしておく当日しっかりと答えてくださいます。

降旗 風通しの良さやコミュニケーションの頻度は、むしろリモート導入前よりも増したと感じます。

実感できる成長スピードの速さ

―― 入所当時に比べて成長していると感じますか？

古田 様々な業務に関与できているので、監査業務の全体像が少しずつ見えてきました。

降旗 古田さんは学生非常勤ですが、学業との両立はできていますか？

古田 テストが忙しい時期は週2日、長期休暇中は週4日といった申請ができるので両立しやすいです。その中でも、主査の方が私の成長スピードを合わせて業務を調整してくださいます。

阿部 私は入所時と比べものにならないほど成長したという実感があります。それは、企業の根幹ともいえる売上勘定や減損も1年目から任せていただいていることが大きいと思います。主査の方に一度チェックしていただき、フィードバックをもとに改善しながら次に進むことを日常的に繰り返した一年でした。

降旗 私も同じようなプロセスで仕事を覚えていきました。若手にチャレンジをさせ、難度が高いからこそ必ずフォローする。そうした手間や時間を惜しまない育成方法も太陽の特徴だと思います。

阿部 私が普段感じるのは、3年目の方の実力の高さです。「自分は一年後こうなれているだろうか」と不安になる時もありますが、そのことがモチベーションに繋がっています。

古田 目標となる先輩方が近くにいることは、刺激や励みになりますよね。

降旗 私も1年目の時、阿部さんと同じような不安を感じたことがあります。ただ、経験を重ねるうちに「先輩方のレベルに近づいてきている」と感じるようになり、自分は成長しているという実感を得ていました。

入所後をイメージできる就活イベント

―― 今後の目標を教えてください。
受験生の皆さんに対するエールをお願いします。

古田 IPOやパブリックなど、未経験の業務に関与することで、さらに知識や経験を増やしていきたいと思っています。

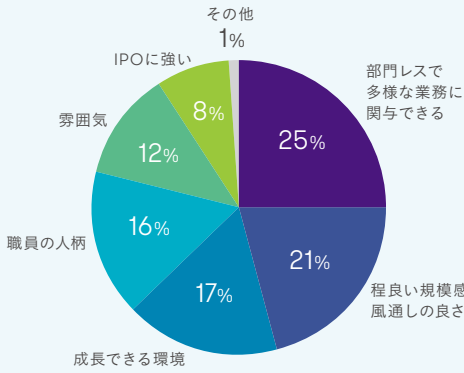
阿部 1年目は、目の前の業務をやり切ることで精一杯でした。2年目の目標は、自分の見解などをプラスワンプラスに乗せられるようになることです。

降旗 2年目を迎える私の目標は、他の業務とは異なる特殊な知識

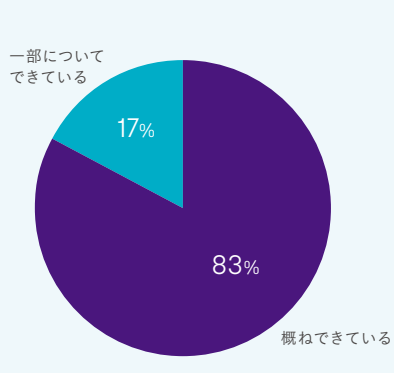
数字に見る若手Voice

(太陽監査法人のJ1・J2アンケート結果より)

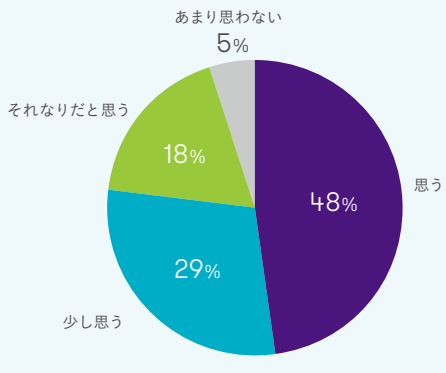
Q1. 太陽監査法人に入所した一番の決め手は何ですか？



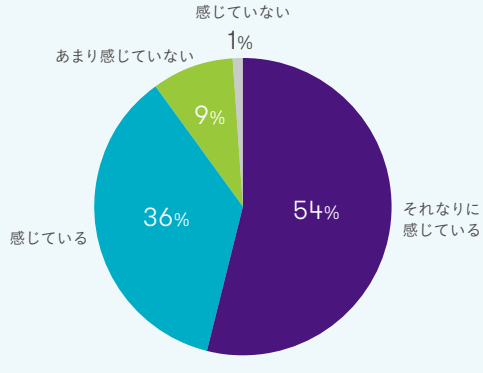
Q2. 希望していた業務に関与できていますか？



Q3. 話しやすい、相談しやすい環境だと思いますか？



Q4. 入所当時に比べて成長していると感じますか？



Cross talk 02

女性座談会

自分が“望む働き方”で 働くために



男性が多い監査業界のなかでも、太陽監査法人の女性は生き生きと働いています。
それは、一人一人が望む働き方を実現できるから。
どのように成長を遂げ、ワーク・ライフ・バランスを大切にしているのか。
年次や経歴が異なる3人の本音に迫ります。



ワークスタイル



女性ならではの細やかさが 活かされる職業・活かせる環境

—— 太陽に入所を決めた理由や女性から見た会計士という 職業の魅力を聞かせてください。

松本 私が太陽に魅力を感じた点は“人”でした。最初は、非常勤として入所し、チームの負荷を少しでも減らせたらと感じていましたが、そう思えたのも、職場で支えてくださった方々がとても魅力的だったからで、一緒に働きたいと思ったことが入所の決め手になりました。

海藤 私は最初、大手監査法人に3年間勤めました。退職後に長男の出産を経験し、その後コンサルティングファームで職場復帰しました。外から監査法人を見て改めて気づいたのが、仕事と子育てを両立させる環境が整っているということでした。

松本 確かに、太陽にもスキルアップを図れる研修プログラムや、柔軟な働き方を支援する制度がありますよね。

海藤 それで再び監査法人に。知人の薦めで太陽に入所しました。以来、品質管理部に所属しています。法人内でのバックオ

フィス業務が中心なので、2人の子供を育てながらも働きやすく、キャリアを積み重ねることができています。

大平 私は前職では通販会社を運営していました。会計士への転身を考えてのは、専門性が高く、潰しが効くと思ったからです。働く時間帯や非常勤を含めた雇用形態など、働き方を比較的自由に選べる点にも魅力を感じました。たくさん働きたい時期や、セーブしながら収入を得たい時期など、いろんなタイミングがあると思うので。

松本 そう思います。結婚や出産、場合によっては介護など、ライフステージに合わせた働き方ができますし、資格をもっていることは長く働き続ける上でも有利です。それに、会計士の仕事は、女性ならではの細やかさが活けると個人的には思います。数字を扱うこと以外にも、クライアントやチームと協働する際は周囲への配慮や気遣いが必要だと感じます。

海藤 複数のタスクを同時並行で進める細やかさも求められますよね。チームのメンバーもクライアントごとにも変わるので、いろんな人と上手くコミュニケーションをとることも大切です。

大平 入所する前は、会計士は個々で動くイメージが強かったです。

松本 実際はチームで動くことが求められる仕事ですが、入ってみたいと中々分からない点ですね。

海藤 会計士という職業の固いイメージからか、目指す女性が男性と比べるとまだまだ少ないですが、実は女性に向いている職業ではないかと思っています。

大平 私が太陽に決めた理由としては、私は監査業務に携わるなら、ある程度の規模がある監査法人がいいと考えていましたが、規模が大きすぎると自分の居場所がなくなるのではないかと不安があったからです。その意味でも、これから規模が大きくなり、組織とともに成長していける太陽がベストだと思いまし

“メンバーの育成など、
今後は「マネジメント」に注力できる
働き方にシフトしていきます。

“仕事も子育てもその時できることを全力で。
「チャレンジ」を続けることがポリシーです。

“経営者から会計士に転身。
「セカンドキャリア」を築くための
働き方を実践しています。



松本 華奈
2014年入所 / 東京事務所 マネジャー

2011年に非常勤として入所。2014年から常勤となり、上場監査、IPO、金融といった幅広い監査業務に従事。現在は、現場責任者として主に金融、飲食、派遣業等の監査に携わる一方で、コミュニケーション担当として間接業務にも携わっている。



海藤 千津子
2009年入所 / 東京事務所 パートナー

大手監査法人、コンサルティングファームを経て太陽監査法人へ。入所以来、品質管理業務に従事し、昨年からサステナビリティ保証業務にも携わる。プライベートでは2005年に長男、2010年に長女を出産。育児と両立しながら独自のキャリアを築いている。



大平 春奈
2021年入所 / 東京事務所 スタッフ

前職は会社経営者という異色の経歴をもつ。会計士に転身し、太陽監査法人に入所後は金融、飲食、不動産、ファンド等の上場監査のほか、IPO業務や学校法人のパブリック業務に従事。リクルートイベントでのメンバーとして間接業務にも携わっている。



た。チャンスがある環境に恵かれた部分が大きいです。

海藤 太陽にはチャンスが多いと思います。比較的少人数の監査チームで様々な企業に携われるので、科目もたくさん任せてもらえますし、監査全体を早く見られるようになるはずです。

松本 太陽は成長スピードが速いとよくいわれますよね。

望む働き方に応えられる

人の関係性と組織の柔軟性

—— 働いてみて感じた印象はどうでしたか？
望む働き方ができているかも教えてください。

大平 期待どおりの働き方ができています。現在は上場会社の監査やIPO業務、パブリック業務にも携わらせていただいています。一つ一つの点だった監査業務が、つながって線になりつつある状況で、自分の成長を日々実感できています。

松本 現在マネジャーとして育成する立場にも立っているので、メンバーである大平さんの成長も支えていきたいと思っています。私自身も育てていただいたありがたみを感じているので。

海藤 そういった関係性が働きやすさにも繋がっているのですね。

松本 私が感じているのは、距離の近さです。海藤さんをはじめ、パートナーとの壁を感じることなく話ができています。

海藤 大平さんはパートナーと話すことはありますか？

大平 事務所で会いすると自ら声をかけてくださるパートナーもいらっしゃいます。スタッフの顔や名前を覚えようとされていることが伝わってきます。

松本 職階や年次を超えてフラットな関係性を築きやすいことは、太陽の大きな魅力だと思います。

海藤 私が太陽に入った時に感じたのは、自分がやりたいと思えば何でもチャレンジできるということです。実際、品質管理部では規程やマニュアル等の整備、研修、調査、相談対応、品質管理部門の運営管理、GTのグローバル会議への参加等、様々な業務をしてきました。昨年から、品質管理部の業務以外に、サステナビリティ保証業務にも携わっています。ですから、仕事に飽きることもありませんね。

大平 海藤さんは、女性職員の活躍を支援する取り組みとして始まった『Women in Business』の発起人でもありますよね。

海藤 きっかけは、リクルート活動の一環として開催している女性限定イベントに参加したことでした。リクルートイベントの準備

のため、若手の女性スタッフの意見を聞く機会があったのですが、その時に、リモートワークの導入で、他の女性会計士と会う機会が少ないという悩みを持っている人が多いということを知りました。職階や年次を超えた女性会計士の交流の場として企画した懇談会が『Women in Business』の原点です。

松本 立ち上げまでのスピードがものすごく速かったですよね。

大平 私も、他の女性会計士ともっと会う機会が欲しいと打ち明けたのですが、その後すぐに、「Women in Business、始めました」というメールをいただいて、スピード感到驚きました。

海藤 女性に限らず、人生において働く期間は長いので、以前から誰もが働きやすい環境を整えたいと思っていました。懇談会形式を改めて組織化したのは、一過性のイベントで終わらせなかったからです。法人側も「ぜひ立ち上げてください」とすぐに受け入れてくれました。

松本 私はコミュニケーション担当者も務めていますが、女性特有の悩みを抱えている人も一定数います。気軽に相談できる知り合いが増える素晴らしい取り組みだと思います。

海藤 職員がどのような悩みを抱え、どうしたら楽しく働けるのか、気軽に話し合える雰囲気を法人全体として作っていただければいいなと思っています。

多様性を受け入れる文化が

根付いている監査法人

—— 最後に今後の目標や女性受験生の方へメッセージをお願いします。

大平 現在の目標は、監査全体をイメージできるようになることです。早く一人前になるためにも、未経験の業務にも積極的に携わりたいと考えています。

松本 私は今後、育成に注力していきたいという気持ちが強いですね。現場責任者としてチームメンバーを育成していくことで、自分自身の役割をシフトしながら、新たな業務にチャレンジしていきたいです。

海藤 私の場合は、現在準備を進めているサステナビリティ保証業務の実現をはじめ、新しい試みにチャレンジしていきたいと考えています。働き方や業務を選べる中で、私は子育てと両立しやすい品質管理部を選択したわけですが、バックオフィスでの働きもしっかりと評価され、パートナーとなっているところにも太陽の良さが表れていると思います。太陽には多様性を受け入



れる文化があると思います。

大平 それはものすごく感じます。私のように、前職が経営者というスタッフも採用されていますから。

松本 採用面接では、どういうパーソナリティーの持ち主かも重視していると思います。

海藤 その人の年齢にとらわれず、人となりを見て採用するのは太陽の特徴ですよね。

松本 会計士という仕事の大変さも理解した上で、望む働き方で働ける太陽に魅力を感じる方と一緒に働きたいと思います。

海藤 キャリアを築きたい人にも、ワーク・ライフ・バランスを大切にしたい人にも、様々な選択肢が太陽には用意されています。やりたいと思ったことに対しては、たくさんのチャンスを与えら

れる法人だと思いますので、特にチャレンジ精神旺盛な方にはお薦めしたいです。



Off time...

オフタイムの過ごし方



自然の中でリフレッシュ（海藤 千津子）

休日はジョギングに励むなど、体を動かすことを心がけています。自然の中で過ごすリフレッシュできるので、連休には家族や愛犬とキャンプをしたり、湖に出かけたりしています。いつか登山にも挑戦したいです。



自分の好きなことをのんびり楽しく（松本 華奈）

休日は、美味しいごはんとお酒を飲みながらのんびり過ごしています。また、今はなかなか遠出は難しいですが、長期休みには、ふらっと旅行に出掛けてリフレッシュしています。



アウトドアスポーツを楽しむこと（大平 春奈）

夏は海でシュノーケリング、冬は雪山でスノーボードなど、リフレッシュしたい時はアウトドアでスポーツを楽しんでいます。今は遠出することが難しいので、休日は近場の海沿いを散歩して過ごすことが多いです。

アフターコロナのワークスタイル
「在宅での働き方」

リモートワークが推進される一方で、そのデメリットや弊害を心配する声を耳にします。

そこで、太陽監査法人ではリモートワークをどのように位置づけているのかを説明し、皆さんの疑問や懸念にお答えします。



田村 知弘 2007年入所 / 東京事務所・札幌事務所長 パートナー

Q1. 往査しなくても監査はできるのでしょうか？
業務の質やクライアントとの信頼関係は保てますか？

A. 監査できますし、信頼関係も保てます！

ビジネスの世界では、電子メールやWeb会議システムなどの便利なIT環境が普及しています。今やリモート環境で入手不可能な情報や資料はほとんどありません。100%リモートでの監査は困難ですが、多くの作業をリモート化することは理論上可能ですし、実際にできています。例えば、私は遠方のクライアントを担当しており、コロナ禍以前は2時間の会議を行うために往復7時間の小旅行をしていましたが、Web会議を活用することで空いた7時間を業務に集中でき、質はむしろ向上しました。コロナ禍が浮き彫りにしたのは、「リモートで可能なことはリモートで。往査でしかできないことは往査で」というシンプルな論理です。リモート環境を活用してリソースの再配分を行い、往査でしかできない重要な業務はしっかりと往査する。そうしたメリハリを意識すれば、業務の質は高まり、ひいてはクライアントからの信頼感も高まると考えています。

Q2. 研修やOJTなど、成長の機会が減り、そのスピードが落ちませんか？

A. いいえ、むしろ成長のチャンスです！

太陽ではe-Learningシステムを活用し、必要な研修はリモートで視聴や参加が可能です。また、MicrosoftのTeamsを使った

参加型のディスカッション研修も充実させています。監査現場においても、Teamsを活用することで、「いつでも、どこでも、誰とでも」容易にコミュニケーションをとれる環境が整えられています。もちろん、受け身の姿勢では成長の機会は少なくなるでしょう。ただ、皆さんが自ら考え、発信し、情報を取りにいき、周囲を動かそうとするなら、これほど適した環境はありません。IT技術の発達が単純作業を駆逐した後の世界では、様々な利害関係者から情報や意見を引き出し、検討し、伝達・説得・交渉できるコミュニケーション能力の価値が、相対的に上がります。リモート環境を活用して、新時代に相応しいコミュニケーション能力を持った真のプロフェッショナルになりませんか？

Q3. コロナ禍の終息後は、リモートワークを減らし、業務スタイルや働き方は元に戻ってしまうのでしょうか？

A. 元に戻ることはありません！

「時間や場所にとらわれない新しい働き方の推進」のために、リモートワークは今後も活用していきます。それと同時に太陽では、職員同士の信頼関係の構築・維持も重要視しています。部活などの課外活動、事務所で顔を合わせたの業務、同期との集合研修など、リアルな交流も織り交ぜながら、リモートのメリットが最大となるバランスを追求していきたいと考えています。何事もバランスが大事ですから。

Case

「主査」と「ママ」を両立できる働き方です。

内田 裕子 2021年入所 / 東京事務所 シニアスタッフ

Q. リモートワークで不安を感じますか？

他法人から転職したばかりで、コミュニケーションに不安があったものの杞憂でした。Web会議システムで顔を見ながら業務ができ、すんなりと監査チームに溶け込むことができました。

Q. リモートワークがもたらしたメリットは？

育児しながら主査を担当できているのは、時間の融通が効くリモートワークのおかげです。子どもたちが保育園から帰ってきた後、寝るまでの時間を一緒に過ごすことができています。



1日の標準スケジュール

- 9:00 子どもの保育園送迎
- 9:30 在宅勤務開始、メールチェック、スタッフへ指示出し
- 10:00 調書作成
- 12:00 自宅で昼食
- 13:00 調書作成
- 14:00 スタッフからの相談対応
- 16:00 進捗確認、クライアントへの質問取りまとめ
- 16:30 在宅勤務終了
- 17:00 子どもの保育園送迎
- 18:30 夕食

Case

働く場所を「地元」に移しました。

大石 雅人 2015年入所 / 東京事務所 スーパーバイザー

Q. リモートワークで不安を感じますか？

全く感じませんね。Teamsの有効活用によって新人スタッフとも密にコミュニケーションをとれていますし、上司の状況もPCで確認できるのでタイムリーに報告や相談などができています。

Q. リモートワークがもたらしたメリットは？

今年、東京から地元の静岡に引っ越しました。クライアントへの往査のため月に2、3日ほど東京に出ることはありますが、特に就業環境が変わることなく業務が続けられています。家族やペットと過ごす時間や趣味に費やす時間も一段と増えました。



1日の標準スケジュール

- 9:20 在宅勤務開始、メールや作業予定を確認
- 10:00 チームMTG
- 11:00 調書の作成
- 12:00 自宅で昼食
- 13:00 資料の格納、調書の作成
- 15:00 上司に調書のレビューを依頼
- 18:00 資料の更新、クライアントに質問
- 19:00 在宅勤務終了

Case

「自分のため」に時間をたくさん使えます。

兎澤 理央 2021年入所 / 東京事務所 スタッフ

Q. リモートワークで不安を感じますか？

入所時から在宅勤務でしたが、Teamsを活用して上司や先輩方が積極的に声をかけてくださいました。業務で困ることもなく、初対面の方とも緊張せずにやりとりができています。

Q. リモートワークがもたらしたメリットは？

身支度の時間が無いため、朝は余裕を持って過ごせます。通勤するよりも疲れにくく、仕事に集中できるので業務の効率化につながっています。勤務終了後すぐに家事ができたり、趣味・勉強に時間を割けるので、ワーク・ライフ・バランスが充実しました。

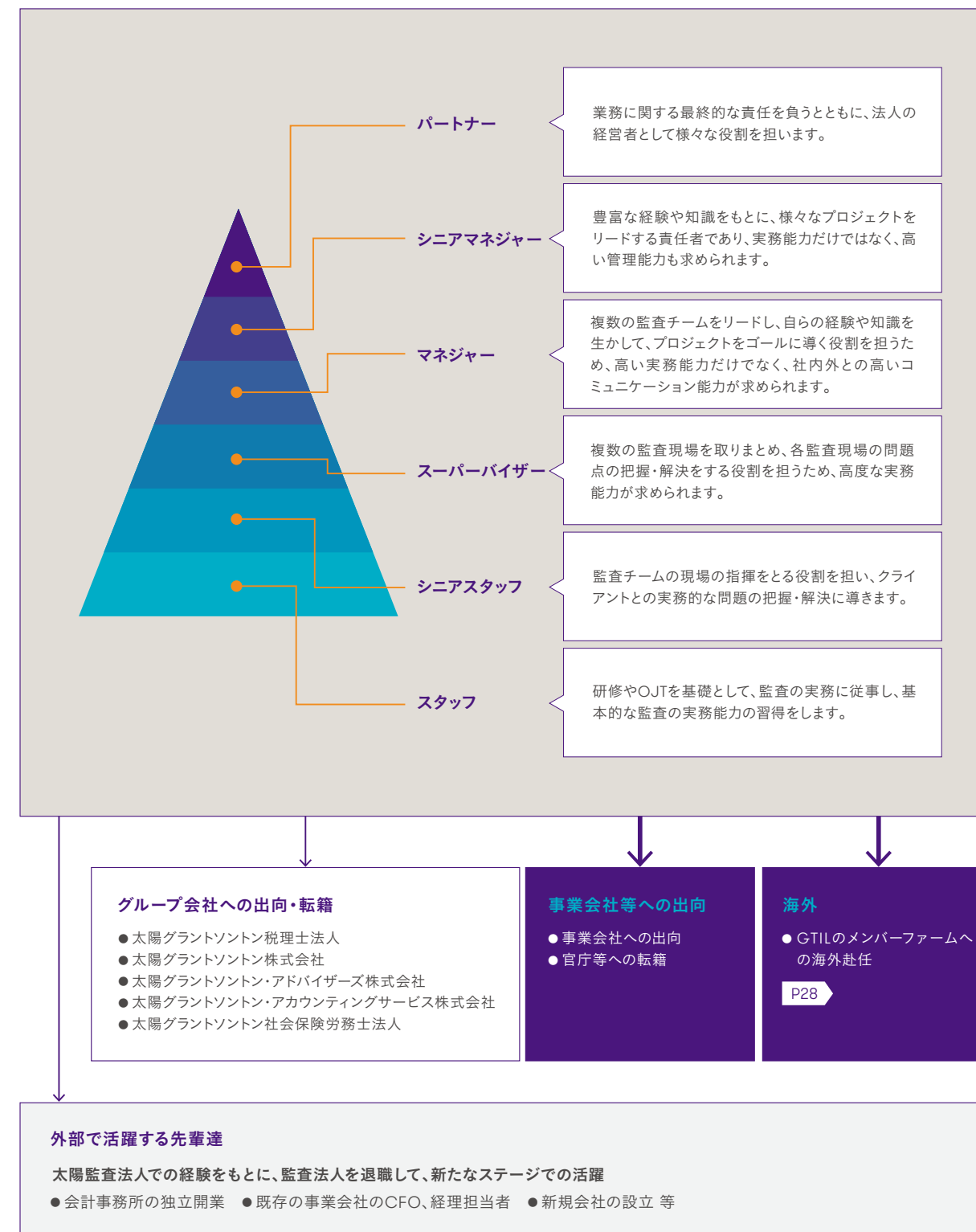
Chapter. 3

各種支援制度

- 25 キャリアプラン
- 26 Close up 02 / 目的別・職階別研修プログラム
- 27 Close up 03 / 業務効率化への取り組み
- 28 Interview 02 / 国際業務・海外駐在
- 29 Close up 04 / グローバル人財支援制度
- 30 Close up 05 / 子育て支援制度
- 31 Close up 06 / 福利厚生制度・CSR活動

自分らしく活躍できる「キャリアプラン」

プレイヤーとして実力を高めていく道や、マネジメント領域で能力を発揮する道もあれば、
海外のメンバーファームに赴任して研鑽を積む道もある太陽監査法人。
一人ひとりが自分らしく活躍し、独自のキャリアを構築するための選択肢が広がっています。



目的別・職階別の「研修プログラム」

ディスカッションやケーススタディ等の「アクティブラーニング」を積極的に取り入れ、
単なるインプットに留まらない様々な研修プログラムを用意。特に入所初年度は、
監査実務にスムーズに入っていけるよう、複数のタイミングに分けて数多く実施しています。

		スタッフ	シニアスタッフ	スーパーバイザー	マネジャー シニアマネジャー	パートナー
ビジネス・人的スキル	ビジネススキル ベーシック研修	●PCスキル ●ビジネスマナー ●タスクマネジメント ●ロジカルシンキング ●アサーティブ コミュニケーション ●フォローシップ	ビジネススキル アドバンスト研修Ⅰ		ビジネススキル アドバンスト研修Ⅱ	パートナー研修
		●プレゼンテーション ●ネゴシエーション ●リーダーシップ			●コーチング ●マネジメント	
会計・監査スキル	監査手法研修	●サンプリング ●監査ツール利用技法 ●CAMP 新人研修の一環として実施 される、監査調書の作成を 行うOJT形式の実務研修	●IPO監査	●Data&Analytics ●AUP	●コンフォートレター ●トランザクションサービス業務	
	継続研修	●会計基準研修 ●監査実務研修 ●職業倫理研修	●IFRS研修 ●専門領域研修(金融・国際・パブリックetc) ●IT監査研修		●税務研修 ●内部統制 ●不正事例	
ケース・コミュニケーション		●英語自己学習プログラム(e-Learning含む) ●TOEIC受験補助 ●Online英会話レッスン	●海外トレーニングプログラム ●GUILトレーニングプログラム			

Focus

実践形式の新人向け実務研修「CAMP」

監査調書を作成する際に必須となるアウトプット技術などの実務の習得はOJT形式(監査現場への往査など)で行われてきましたが、その機会はコロナ禍を契機に業界全体として減少傾向にあります。そこで太陽では、実際の監査現場と同様の手順で監査調書の作成に取り組む、独自の研修プログラム「CAMP」を開発しました。従来の新人研修スタイルであったインプット型の研修に加え、CAMP研修を年に複数回設定。実際の監査現場と同様に、会社から入手した資料を基に監査調書を自らの手で作成(＝アウトプット)し、当該成果物に対して上長からのレビューを複数回受け、最終的な監査調書を仕上げます。

事前説明

現場投入

調査作成

調査レビュー

質疑応答

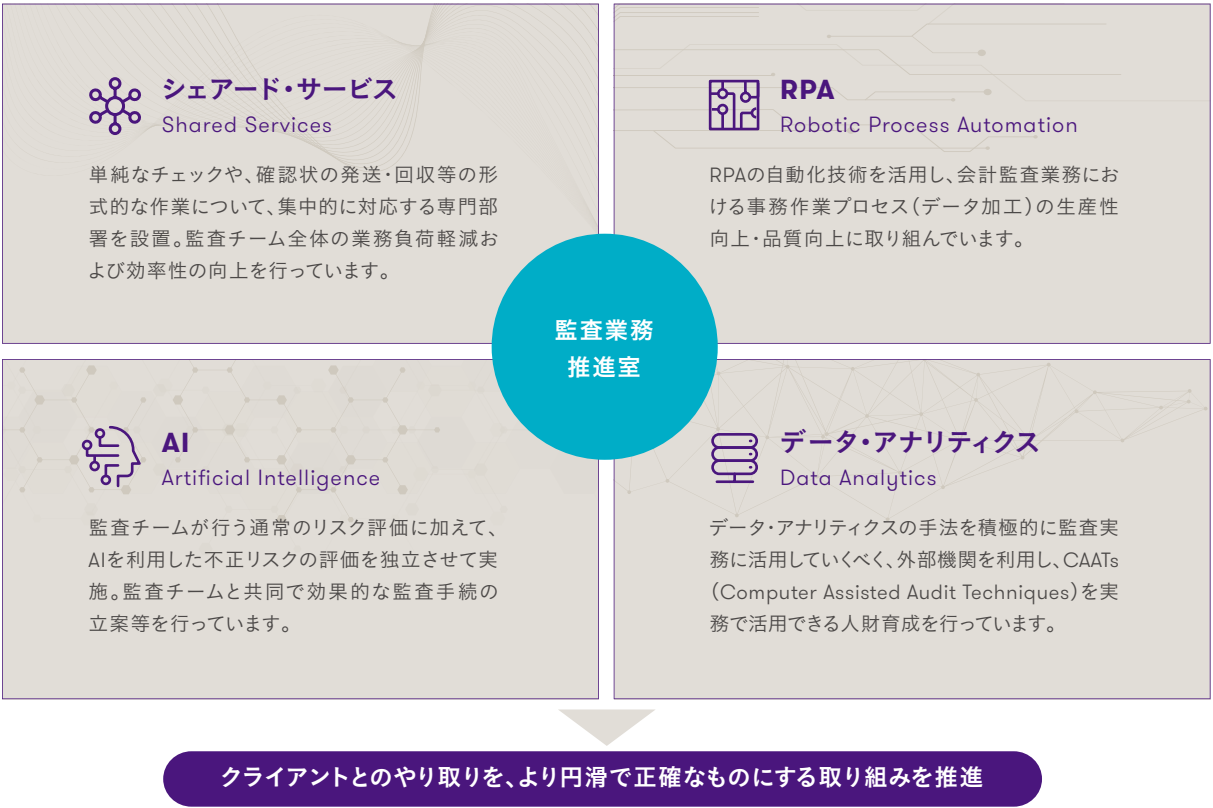
調査仕上げ

- 配属前に実務を経験することで、自信をもって監査現場に参画できる。
- ミスや質問に対し何度も学習できるため不安を解消できる。
- 同期の仲間と横のつながりが強くなる。
- 研修時に配属先の上長と良好な関係を築けるため、現場配属後にも良質な環境が構築される。

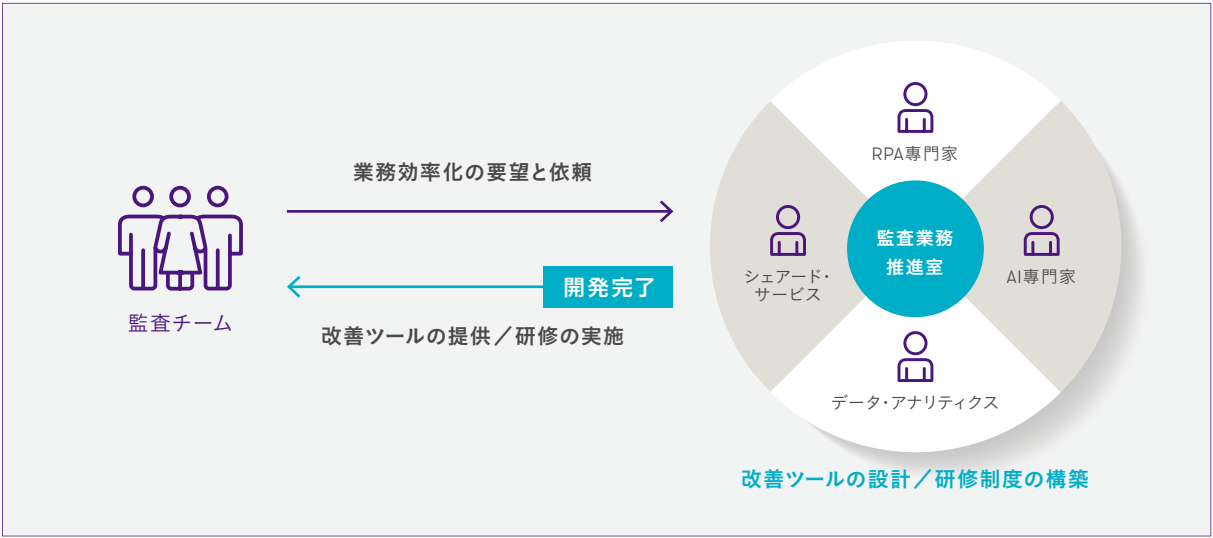
働き方の多様化に応えるための
「業務効率化への取り組み」

個々の監査チームが最大限のパフォーマンスを発揮できるように、
監査業務推進室を中心に業務の効率化・生産性向上に向けた様々なプロジェクトを推進しています。

業務内容



常に進化し続ける業務の効率化



Interview 02

GTILネットワークを活かした「海外駐在制度」

国際的なビジネスネットワークの構築や、コミュニケーション能力の向上等、
リーダーシップを発揮できるグローバル人財へと成長するための機会を提供しています。



山田 大介 2016年入所 / 東京事務所 パートナー

太陽だからこそ提供できる「GTIL」の教育研修

太陽は、当法人が加盟するネットワークであるGTIL（グラントソントンインターナショナル）が主催する、数々の人財育成プログラムに積極的に参加しています。つまり、日本国内に居ながらもGlobal Mindsetを身に付け、グローバル人財として成長する機会が数多くある、というのが特徴です。研修は、単に講師による講義を聞く一方的なものではありません。小グループに分かれて活発な議論を交わす、双方向なものです。国という垣根を越えて、異文化を知る機会や異なる価値観を持つ者同士が、自らの考えを発表する場を与えてくれる大変貴重なものと私は考えています。

海外トレーニー体験談

英語は不安・・・だからこそ挑戦しましょう！

池田 美帆子
2018年入所 / 東北事務所 シニアスタッフ

募集告知を目にしたのは、公認会計士の修了考查に向けて受験勉強をしていた時期でした。USCPAの取得も視野に入れていたので、アメリカで監査を経験できる機会を逃すまいと即座に応募を決意しました。私の場合はロサンゼルスに半年間ずつ、計2回派遣されました。1回目（2021年

18ヵ国24拠点に広がる成長の舞台「ジャパンデスク」

近年、多くの日系企業が海外展開によって事業規模を拡大しており、我々監査人にとっても海外拠点を含んだグループ監査の重要性が高まっています。そこで当法人では、2010年より海外主要都市のメンバーファームに「ジャパンデスク」の設置を開始し、現在18カ国24拠点に展開しています。また、長期型の「駐在員制度」のみならず、短期型の「海外トレーニー制度」も充実しており、誰もがグローバル人財への成長機会を得られる環境が整っています。私自身、英国・ロンドンでの3年間の駐在経験を経て、監査以外の会計サービスの提供や現地法規制に関するセミナー・執筆活動に注力しました。何度も壁にぶつかりながら限界を突破したことで、グローバル人財へと多面的に成長することができました。

グローバル人財育成を加速させる「国際部」「IBCD」

私が現在所属する国際部では、日本国内におけるグローバル人財育成の観点から、内部統制監査を含むグループ監査インストラクションをはじめ、多種多様な研修を実施しています。また、私は海外メンバーファームからの問い合わせ窓口となるIBCD（International Business Centre Director）を務めており、グローバル人財を目指す方にとって有益な情報を日頃からストックしています。コロナ禍によって企業の海外子会社管理への関心が一層高まっている中、日本国内における監査の過程においても、グローバル人財として企業ニーズに応える必要があります。もはやグローバル人財とは、これから会計士として働く方一人ひとりに関係が深いものです。そのことを十分に理解し、日々の監査業務に従事することが非常に大切だと私は考えています。Go Beyond Your Limit, Everybody!!!

3月～9月）は、コロナ禍の影響でクライアント先には行けませんでした。2回目（2022年2月～）は、着任後すぐさま飛行機でオハイオ州まで出張に行きました。英語でクライアントとやりとりし、業務を一つずつこなしていくたびに、たくましくなる自分を実感しました。現地の日本人・駐在員の方々と一緒に仕事をするので、ビジネス英語が苦手（私もそうです・・・）でも心配はいりません。現地で習得していけばいいんです！

Close up 04

各種支援制度

グローバル人財になるための「支援制度」

世界を舞台に個人のスキルを最大限に発揮できるように、
海外での業務に生きる語学力養成プログラムや、各国での駐在業務や想定したトレーニング等、
研修を中心とした4つの支援制度を設けています。

1

英語自己学習プログラム

対象者 全ての社員・職員

- ビジネスEメール
- もう一度英語（ビジネス編）
- TOEIC対策コース

TOEICで一定以上の点を獲得した社員・職員は、Online英会話レッスンが受講可能となります。なお、TOEIC受験の費用は法人より補助金が支給されます。

2

GTILトレーニングプログラム

- 主な研修
- Senior Leadership Programme
 - Emerging Leaders Programme
 - Advanced Leaders Programme
 - IFRS Training
 - PCAOB Training
 - ISA Training

グラントソントンインターナショナルの研修プログラムに定期的に派遣しています。グローバルレベルの交流、ビジネスやIFRS、監査品質水準等、目的は様々です。各国の提携事務所の職員が特定の都市に集合したり、オンライン上で研修を実施しています。

3

海外トレーニープログラム

- 対象者 : 修了考查合格者、USCPA取得者
- 派遣先 : 米国(今後順次拡大する予定)
- 選考 : 希望者のなかから選考
- 期間 : 原則として、半年間を2回
- 業務内容 : 現地法人の監査業務

業務を通じて活きた語学力を身につけ、関与先のグローバル化、クロスボーダー取引の増加に対応するとともに、英語で討論のできる人財を育成することを目的としています。

4

各国駐在員

40ページ、41ページで掲載している「ジャパンデスク」のある特定のエリアへ駐在員を派遣しています。ポーターレスにクライアントサービスを提供できる人財を育成していくことを目的としています。



Close up 05

各種支援制度

柔軟な働き方をバックアップする

「子育て支援制度」

個々人が望むキャリアや働き方を実現するサポートの一環として、多彩な子育て支援制度を設けています。
ライフスタイルの変化に合わせて、ワークスタイルも柔軟に変えられる組織を目指しています。

女性育児休業取得率実績

100%

男性の育児休業取得者も年々増加しています。

育児休業取得後の復職率

100%

育児のための短時間勤務も活用しながら復職しています。



産前産後休暇/育児休業

産前6週間、産後8週間の休暇取得が可能です。
育児休業として、1歳のお誕生日前日まで取得可能、状況により2歳まで延長可能です。



保育園紹介サービス

企業主導型保育園の空き状況の確認や見学・入園申込ができるサービスの利用が可能です。



短時間/柔軟な勤務

小学校卒業まで最大2時間の勤務時間短縮ができます。また、勤務日数の短縮、業務量の調整、時間外勤務の制限等、柔軟に対応します。



子どもの看護休暇

有給で年間10日間、看護に充てられます。小学校ご卒業までが対象です。※1



出産祝い金

本人または配偶者のご出産の都度、支給します。



ベビーシッター利用費用補助

ベビーシッター利用にあたり、利用料を補助します。

※1 なお、看護休暇は一般的に“無給”ですが、当法人では子育てへの支援を強化するため“有給”としています。

仁科 仁
2013年入所 / スーパーバイザー

前職は都立病院の経営管理業務。2013年に太陽監査法人に入所し、主に情報・通信業、製造業、IPO準備会社の会計監査を担当。現在はベトナムの海外駐在員を務めている。

太陽がサポートしてくれたおかげで、大切な育児の時間を十分に確保でき、仕事も一層充実しています。

5年前の第一子(長男)の際は育休を数週間取得しましたが、今回の第二子(長女)では、2020年8月から2020年12月まで5ヶ月間取得しました。比較的長い期間でしたので、社内の事前調整は必要でしたが、太陽のメンバーは快く受け入れてくれました。育休期間中も、1ヶ月当たり10日程度の勤務形態として、特に重要な業務に絞って勤務していました。その間、サポートして下さった太陽のメンバーには本当に感謝しています。お陰様で家族の団結も強くなり、子どもは私に懐いてくれます。今後とも家族と過ごす時間を大切にしながら、一層積極的に仕事に取り組んでいきたいと思ひます。

佐賀 美久
2014年入所 / シニアスタッフ

2020年に第二子の産休・育休を取得。復職後は、主に在宅勤務により業務を実施し、フルタイム勤務により仕事と家庭との両立をしている。主に、製造業、独立行政法人等の監査におけるスタッフ業務に従事。

育休復帰後はスタッフ業務に専念。子供と過ごす時間を大切にできています。

第二子の育休中に在宅勤務制度が導入され、第二子の育休明けから業務の大半を在宅勤務により実施しています。在宅勤務制度が導入されたことにより、第一子のときは時短勤務であったものの、第二子の育休明けからはフルタイム勤務ができています。また、休憩時間に家事をすることができてとても助かっています。そして、スーパーフレックスタイム制により終業時刻を早めることで、子どもと触れ合える時間を取れるようにしています。実施業務としては、まだ第二子が体調を崩しやすいこともあり、現在は主査業務からは外れ、スタッフ業務に専念させてもらっています。このように様々な制度を活用することで仕事と家庭との両立をすることができています。

30

Chapter. 3

Close up 06

各種支援制度

働きやすさと暮らしやすさを充実させる

「福利厚生制度」

休暇・休日	有給休暇とは別に休暇・休日を充実させています。 ● 修了考査のための特別休暇(2週間) ● 公認会計士試験論文式試験のための特別休暇 ● 夏季休日 ● 年末年始休日 ● 産前産後休業 ● 育児休業 等
多様な働き方制度	● 在宅勤務 ● 柔軟な始終業・勤務中の中抜け(家事・育児への対応) ● 週4日勤務(4日間で5日間分の勤務をする形態も可能) ● 短時間勤務(育児介護以外の理由でも1時間/2時間の短縮) ● 副業制度
人が自然と集まるリフレッシュルーム	職員が心身ともにリフレッシュして仕事に取り組める環境を提供するために、リフレッシュルームを設けています。職員同士のコミュニケーションを図りやすく、仕事モードのオン・オフを切り替えることで、効率的に仕事に励むことができます。 ● 専属のマッサージ師による施術のサービスを提供(新型コロナウイルス感染拡大の状況により閉鎖対応あり) ● 卓球台・ダーツ台も設置
リゾート好立地の保養所	● 東急ハーベスト 共有会員制システム 軽井沢、京都、箱根、浜名湖、鬼怒川等 ● ビステ石内 リゾートマンション 1回の利用につき1人1,000円(宿泊日数に関わらず)

職員も参加する

太陽グラントソントングループの「CSR活動」

Grant Thornton CSR

当法人が加盟しているグラントソントンでは、毎年 CSR Day を設定し、各国の加盟事務所がCSR活動を積極的に行っています。太陽監査法人を含む太陽グラントソントングループは、公共性の高いプロフェッショナルファームとして、会計及び監査業務のほか、地域社会への社会的責任を果たすべくCSR活動を推進しています。

FITチャリティ・ラン

国際女性デー

紙資源の節約・還元活動

募金活動・協賛活動

31

Chapter. 4

業務内容

- 33 監査業務・IPO業務
- 34 パブリック・国際業務
- 35 金融業務・アドバイザリー
- 36 1年間の業務スケジュール

Service line

業務内容

監査業務

幅広いフィールドで 監査業務を経験

多様な業種や、規模の大小等で様々なクライアントがあります。部門にとらわれずに、監査業務を提供します。スタッフの時から複数の業種、様々な規模のクライアントに関与し、多角的に物事をとらえる能力を身につけます。若い年次から多くの科目を担当することができるため、会社の全体像を早くつかむことができ、飛躍的に成長できます。シニアスタッフ、スーパーバイザーの時は、現場の責任者である主査業務を主に実施し、仕事の流れを理解し監査の全体像をつかむことができます。コミュニケーション能力を身につけ、知識や経験もより充実したものになります。さらにマネジャー、パートナーになるにつれ、経営者目線で、クライアントのビジネスの理解や課題の抽出ができるようになり、クライアントからより信頼される監査人となります。

主な業種

製造業、情報・通信業、卸売業、小売業、サービス業、建設業、不動産業、倉庫運
輸関連業、REIT等



IPO業務

新規上場を目指す会社への 監査業務やアドバイザリー業務を提供

IPOとは、Initial Public Offeringの略語で、日本語では「株式公開」や「新規上場」を意味します。監査法人のIPO業務とは、新規上場を目指す企業へのサービスを指します。若い年次から、上場会社だけでなく、IPO業務にも従事する事で、より会社のためになる、提案・指導する力が身に付きます。上場する会社は、一般的に上場申請する年度の直前期及び直前々期の決算書について、監査法人の監査報告書が必要になります。そのため、監査法人は、直前々期及び直前期の監査意見が出るようにIPO準備会社に対して指導的機能を発揮しつつ、強い会社へと導く役割を担っています。

主な業務

- 短期調査(クイックレビュー)
現状の会社の上場に向けた課題抽出及び対応策の検討
- アドバイザリーサービス
会計基準対応(収益認識基準、原価計算体制の構築支援、税務基準から会計基準への移行支援) / 内部統制構築支援 / 事業計画作成支援 / ガバナンス体制構築支援 / ITシステム導入支援
- 監査・上場申請書類レビュー
上場までの監査業務や、上場申請時に必要となる書類のチェック



パブリック

監査を通じて公共性や
社会貢献を実感

パブリック・アカウンタビリティ（公的説明責任）を実現するべく、情報の透明性、有用性、信頼性向上に会計監査・アドバイザリー業務を通じて携われます。パブリック分野の監査には、「医療法人」「社会福祉法人」「公益法人」「学校法人」「国立大学法人」「独立行政法人」の6つの大きな柱があります。パブリック業務は幅広い領域があるので、専門性を磨きやすい分野です。

主な業務

- 独立行政法人に対する会計監査業務、会計・内部統制アドバイザリー業務
- 国立大学法人に対する会計監査業務、会計・内部統制アドバイザリー業務
- 国、中央省庁に対する会計支援業務、アドバイザリー業務
- 地方公共団体に対する会計支援業務、アドバイザリー業務
- 国民から負担された税財源で運営されている公益法人、学校法人、医療法人、社会福祉法人等の非営利法人に対する会計監査業務、会計・内部統制アドバイザリー業務



国際業務

世界中のメンバーファームと連携

海外のグラントソントンメンバーファームと連携して、ボーダーレスな業務に従事します。また、業務を通じて、英語力の向上、異文化の理解力、国際的に活躍できる力を養うことができます。

主な業務

- リファードイン業務：各国グラントソントンの監査クライアント（外資系企業）の日本子会社の監査業務等への対応（監査、特定項目の監査手続、合意された手続、レビュー）
- リファードアウト業務：太陽監査法人の監査クライアント（日系企業）の海外子会社の監査/J-SOX業務を各国の海外メンバーファームへ依頼し、親会社監査人としてグループ監査を実施
- 海外駐在：海外のメンバーファームに派遣し、現地にてジャパンデスクとして日本・海外のメンバーファーム間の調整を実施
- 海外トレーナー：海外のメンバーファームにおいて現地監査チームの監査業務に従事
- IFRS導入支援サービス：影響度調査、課題分析及び解決策等のアドバイス、導入アドバイス
- 海外メンバーファームと連携した、内部監査サポート業務



金融業務

日本の金融システムの
安定化に貢献

事業会社の監査を同時に実施するため、金融機関が関与する様々な業界の理解が蓄積され、金融機関の貸出先に対する与信リスクの監査を充実したものにできます。また、金融業務で得た知識や経験を、事業会社の監査へ生かすことで、会計士としての視野が広がります。かつての金融機関は「護送船団方式」と呼ばれる横並び政策の下で保護されてきましたが、金融ビックバンといわれた規制緩和と改革の結果、今日の金融機関では競争が激化しています。一方で、2008年のリーマンショック、2016年のマイナス金利政策導入、2020年からの新型コロナウイルスの感染拡大など、金融機関が直面するリスクは多様化しています。こうした金融機関の経営環境の下、我が国の金融システム安定化の一翼を担うものとして、監査法人による金融機関の厳格な監査が期待されています。

主な業務

- 銀行・信用金庫・信用組合への会計監査
- 証券業への会計監査



アドバイザリー

企業が直面する課題に対する
スペシャリストサービスを提供

監査業務に従事しながら、グループ会社の「太陽グラントソントン・アドバイザーズ株式会社」と連携して、幅広いアドバイザリー業務を提供します。監査とは目線の異なる業務を実施することで、物事を色々な角度から検討する能力が養えます。監査とアドバイザリーや、監査の中における他業種・異なる規模のクライアントを担当する「業務のループ」が、個人の成長を格段にスピードアップさせる「成長のループ」を生み出します。

主な業務

- 財務・税務・ITデューデリジェンス
- グローバートランザクション支援
- IPO支援サービス
- 会計アドバイザリーサービス（IFRS・収益認識基準適用支援、内部統制構築支援、原価計算制度構築支援、規程・マニュアル作成支援、その他決算・開示支援等）
- サステナビリティ関連開示支援（TCFD開示支援、CDP質問対応支援等）
- 内部監査/内部統制（J-SOX）コンサルティング
- リスク対応/ガバナンス支援
- 不正調査/デジタルフォレンジック
- 不正リスクアセスメント/不正兆候検知
- IT投資/海外子会社IT/プロセス統合支援
- ITリスク管理



1年間の業務スケジュール

太陽監査法人の会計士は、複数の業務に携わる部門レスな働き方を実践しています。
どのように業務を推進しているのか、1年間の流れの一例を紹介します。



矢作 匠 2019年入所 / 東京事務所 スタッフ

様々な業務に興味を持ちチャレンジし続けることによって、自分の可能性が広がっていくことを感じます。



上場会社監査 IPO業務 会社法監査 非営利法人監査 国際業務 研修 アドバイザリー 任意監査 その他



能口 亮平 2017年入所 / 東京事務所 シニアスタッフ

多様な業務への関与経験が、自身の継続的な成長に繋がっていることを実感します。



Chapter. 5

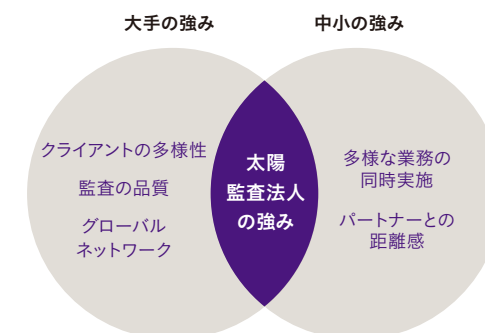
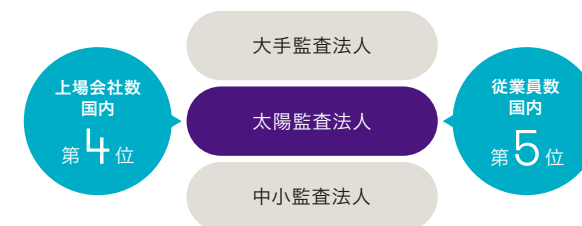
太陽監査法人とは

- 39 太陽監査法人の強み
- 40 グラントソントンインターナショナル (GTIL) とは
- 42 施設紹介
- 44 拠点情報
- 46 Cross talk 03 / 地区事務所職員座談会
- 50 法人概要
- 51 グループ会社
- 52 総括代表社員挨拶

太陽監査法人の強み

グローバル×ミッドサイズという 特異なポジション

太陽監査法人は、総合的な規模としては5番手となりますが、上場会社数では国内第4位に位置しています。さらなる成長を目指しますが、決して規模だけを追求する監査法人ではありません。この規模感でしか発揮できない特長を最大限に活かし、従来の監査法人とは一線を画す独自の路線で、新しい時代を切り拓いていきます。

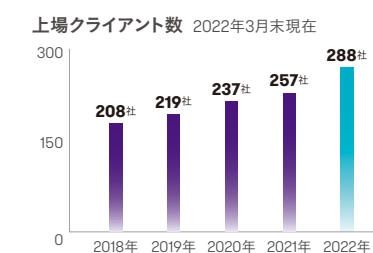
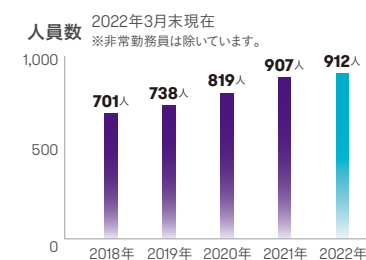
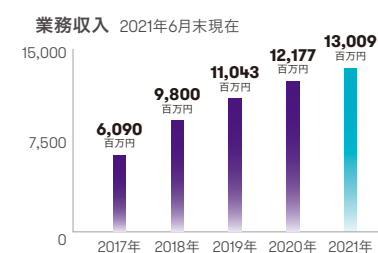


大手と中小の長所を兼ね備えた ユニークさが促す成長

太陽監査法人の規模感は大手と中小の中間にあり、それぞれの長所を兼ね備えています。大手監査法人のように、多様なクライアントの業務が多いため、様々な経験を積むことができます。また、中小監査法人のように、迅速で柔軟な対応を図ることができ、監査チームが巨大ではないことから若手でも影響力の大きな業務を経験できます。

グラントソントンインターナショナル (GTIL) との連携

太陽監査法人は、グラントソントンネットワーク内において影響力が大きくなってきています。メンバーファーム内6番目の規模の国として、GTILの経営戦略を策定する会議体にも常任国として参加。今後もグローバルの活動に積極的に関与して日本の意見を発信し、GTILの世界戦略がより優れたものとなるように取り組んでいきます。



グラントソントンインターナショナル (GTIL) とは

GTILは、世界135カ国以上にネットワークをもつ国際会計事務所のグループです。

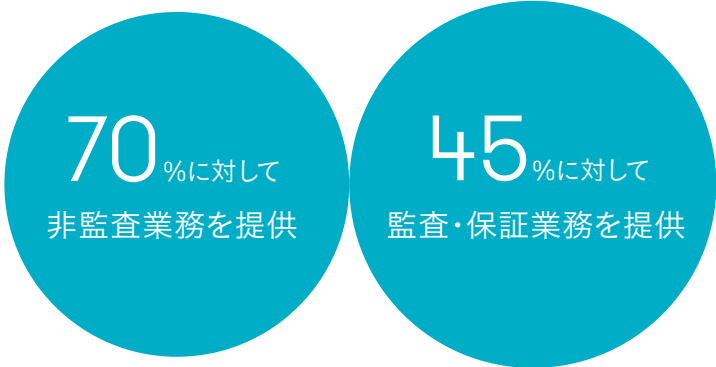
そのメンバーファームは独立して経営されていますが、世界戦略に基づいて密接な関係を維持しています。

売上規模は4大会計事務所グループの次に準じる規模であり、ここ数年間では国際的な同業グループの中で最も高い成長率を記録。

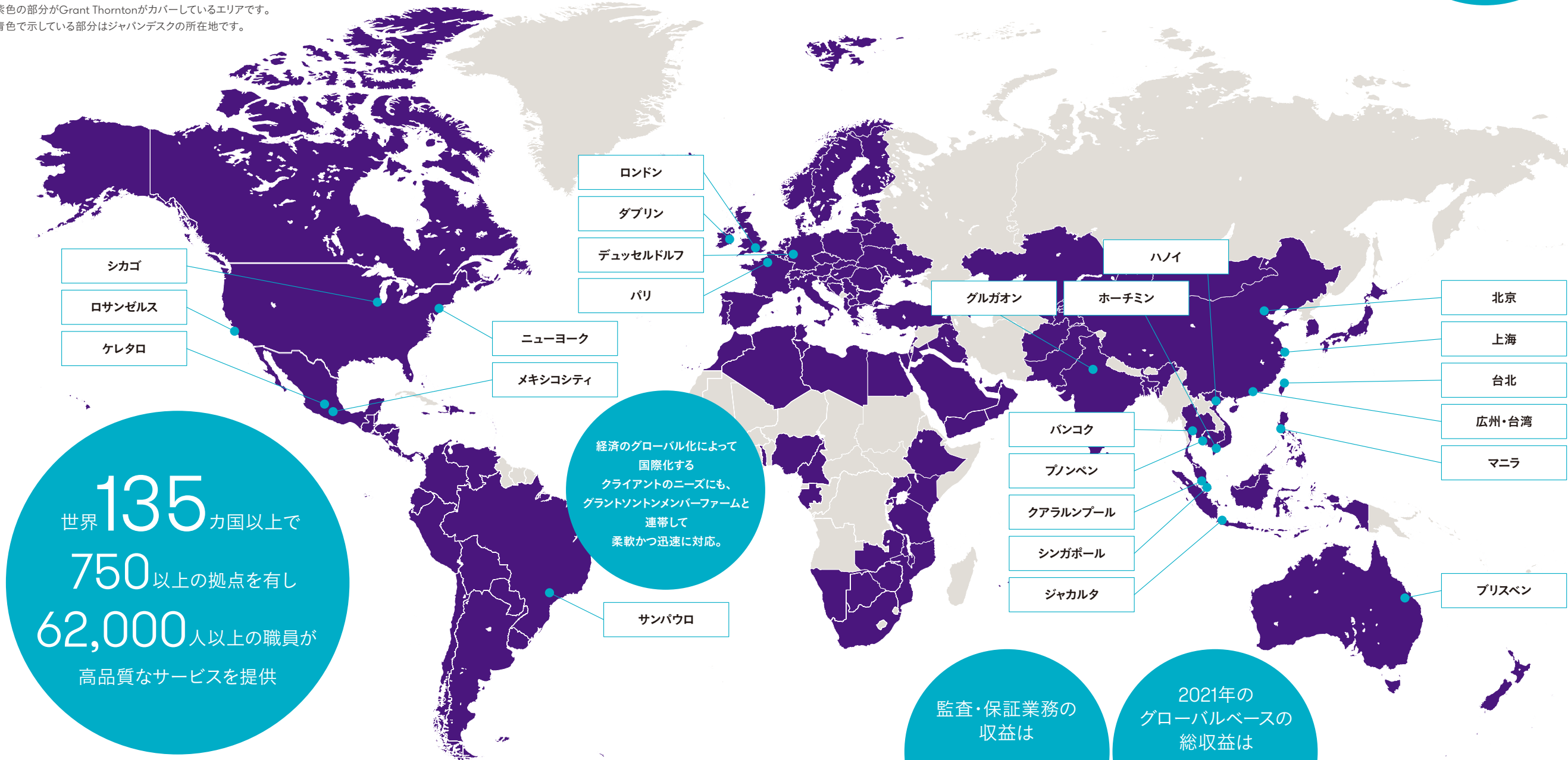
顧客は世界規模の大企業から比較的小規模なオーナー企業までの広い範囲に及びます。

特に中堅オーナー企業との関係は古くから続いており、要望に合った品質の高いサービスを提供しています。

Fortune500のうち
Grant Thorntonが



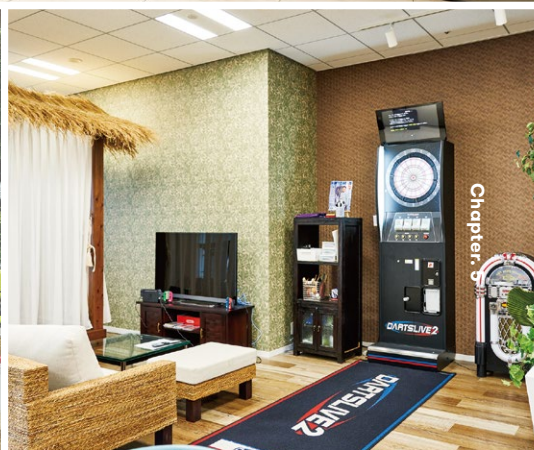
■ 紫色の部分がGrant Thorntonがカバーしているエリアです。
■ 青色で示している部分はジャパンデスクの所在地です。



「ジャパンデスク」(18カ国・24拠点)

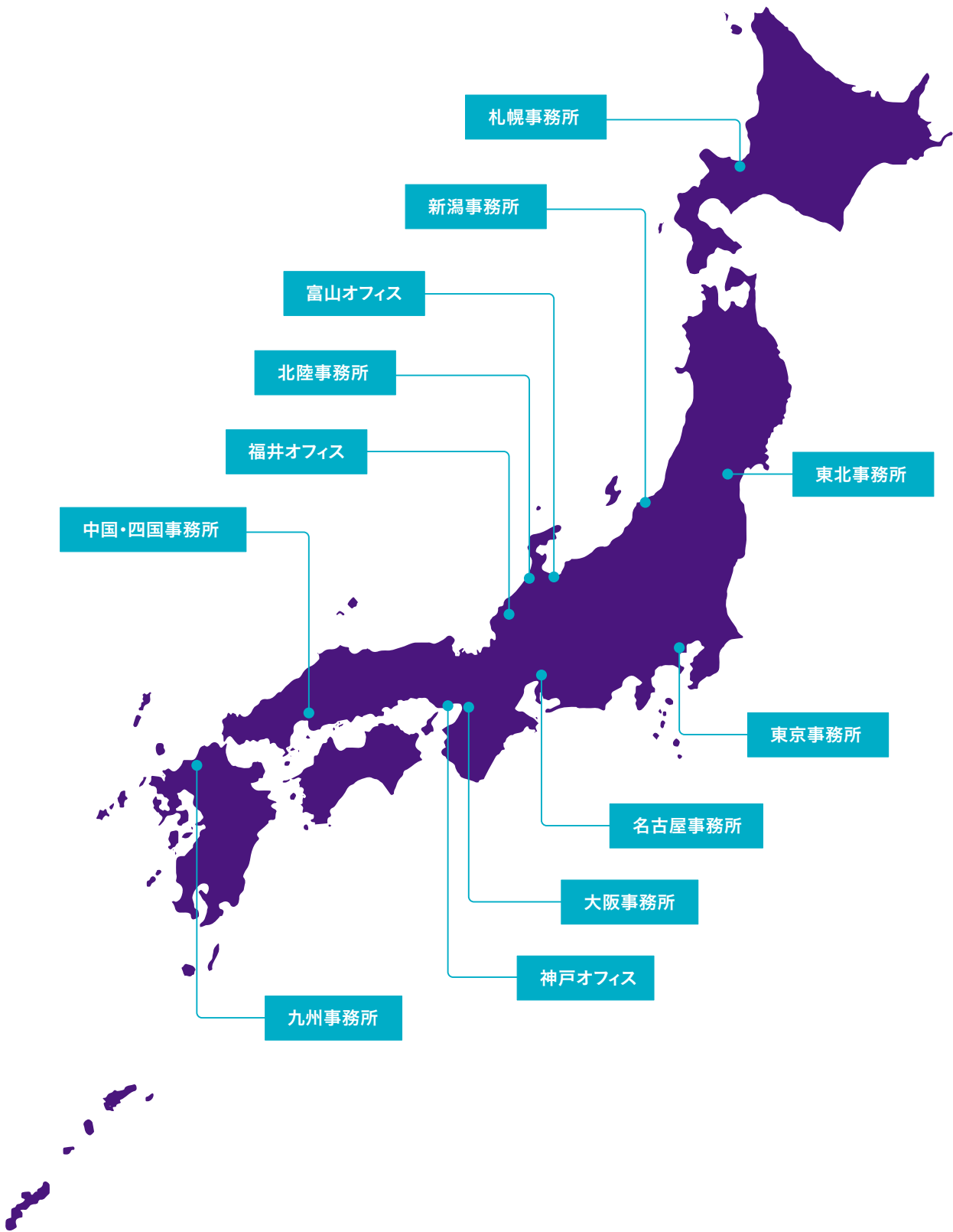
日本企業の海外事業展開を支援するため、世界主要都市に、日本人駐在員または日本語対応可能なプロフェッショナルが常駐。きめ細やかで質の高いサービスを提供しています。

各国ジャパンデスクと太陽監査法人は「一つのファーム」としてボーダーレスにクライアントをサポートしています。



日本全国に広がる活躍のステージ「拠点情報」

GTILのジャパンオフィスである太陽監査法人は、全国の主要都市に拠点を構えています。
各地域の経済圏に根ざしたサービスの提供や地方創生を担っており、拠点間での人財交流も行われています。
IターンやUターンといった個々人のニーズに応える等、ライフステージに合わせた働き方が可能です。



本部・東京事務所	〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー22階 TEL 03-5474-0113 FAX 03-5474-0114
大阪事務所	〒530-0015 大阪府大阪市北区中崎西2-4-12 梅田センタービル25階 TEL 06-6373-3030 FAX 06-6373-3303
神戸オフィス	〒658-0032 兵庫県神戸市東灘区向洋町中6-9 神戸ファッションマート8階 TEL 078-858-9995 FAX 078-858-9996
札幌事務所	〒060-0001 北海道札幌市中央区北一条西4-2-2 札幌ノースプラザ7階 TEL 011-596-9351 FAX 011-596-9352
東北事務所	〒980-0021 宮城県仙台市青葉区中央2-2-1 仙台三菱ビル4階 TEL 022-797-2471 FAX 022-797-2472
新潟事務所	〒950-0087 新潟県新潟市中央区東大通2-1-18 だいし海上ビル5階 TEL 025-290-7081 FAX 025-290-7082
北陸事務所	〒920-0031 石川県金沢市広岡1-1-18 金沢KSビル6階 TEL 076-231-3270 FAX 076-263-9181
福井オフィス	〒910-0006 福井県福井市中央3-3-21 福井中央ビル3階 TEL 0776-27-3023 FAX 0776-26-4331
富山オフィス	〒930-0008 富山県富山市神通本町1-6-5 富山東京海上日動ビル2階 TEL 076-433-3150 FAX 076-433-3625
名古屋事務所	〒450-0002 愛知県名古屋市中村区名駅4-6-23 第三堀内ビル5階 TEL 052-569-5605 FAX 052-569-5606
中国・四国事務所	〒730-0013 広島県広島市中区八丁堀14-4 JEI広島八丁堀ビル6階 TEL 082-511-2671 FAX 082-511-2672
九州事務所	〒810-0001 福岡県福岡市中央区天神2-14-2 福岡証券ビル5階 TEL 092-718-3071 FAX 092-718-3070

Cross talk 03

太陽監査法人とは

地区事務所職員座談会

“地域経済”を支えながら
“成長”を実感する



東北事務所

長谷川 一輝

2021年入所 / スタッフ

名古屋事務所

清澤 英正

2021年入所 / スタッフ

大阪事務所

神原 さおり

2021年入所 / スタッフ

北陸事務所

石原 鉄也

2007年入所 / シニアパートナー 北陸事務所長

中国・四国事務所

増田 晃大

2019年入所 / スタッフ

各地区事務所では、地域経済の発展に寄与するため、職員が日々業務に邁進しています。

その経済圏が抱える特有の事情や課題が、首都圏とはある種異なるモチベーションをもたらす一方で、成長を実感しながら働ける太陽監査法人らしさは全国共通といえます。

勤務地として地方を選んだ北陸事務所長及び職員4人に、その魅力について語り合ってもらいました。

雇用や生活までも支えている手応え

— 地区事務所で働く魅力について教えてください。

石原 皆さんは地域で現在どのようなクライアントや案件に携わっていますか？

長谷川 私が東北エリアで携わっているのは、信用金庫、大学法人、上場会社と幅広いです。どの案件も規模的には大きくありませんが、それだけに1年目の自分でも携わっている業界や業務の範囲は広いですね。

清澤 私は上場会社のなかでも、食品卸売業、ソフトウェア業、管工業のクライアントに関与しています。また、IPOにも数社関与しています。

石原 地域経済を支える業界や産業への関与が多そうですね。

神原 私が強く印象に残っているのは、中小企業が集まる東大阪市の倉庫会社です。現場を訪問し、売上高の伸びを表すグラフが手書きで書かれた壁を目にした時は、地域の発展が垣間見れて嬉しくなったことを今でも覚えています。

増田 地域の生活を支えているという点でいえば、広島市に本社を置くコンビニエンスストアチェーンに携わっています。また、私の出身地である徳島県のクライアントも多いです。

石原 中国・四国事務所は、対象エリアの広さが特徴ですね。

増田 どの社長様も、口を揃えて「地元の雇用を守りたい」とおっしゃいます。そのために上場を目指す会社も少なくないので、私も地域経済の発展に寄与したいと強く思います。

石原 私は長年IPOを専門にしましたが、地域から上場会社が1社増えると経済が確実に活性化しますし、雇用も生まれますよね。最初に関与した頃に比べて、従業員数や売上高が大幅に伸びる。そんな醍醐味を皆さんにもぜひ味わってみたいですね。

神原 地域って愛着も湧きますよね。私は地元の大学を卒業後、東京で就職しました。地元に残っていたら恐らく気づかなかった街の変化に、戻ってみると気づくものです。今は地域を支えたいという気持ちが強いですね。



石原 私が地域経済を支えていると感じたのは、東京から北陸事務所に赴任した時でした。減損回避が困難でも、街が賑わいを失わないために商業施設を建設する。そうした東京では考えられない論理が存在することも、地区事務所で働く魅力だと思います。

地域でキャリアを始める数々の魅力

— 太陽に入所を決めた経緯について教えてください。

増田 私の場合は太陽の規模感ですね。経営課題を抱える様々な会社に携わりたいと思い、その方が成長も速いと考えました。実際、職階はスタッフでありながら監査全体に携わることができています。大手監査法人に勤務する同世代の仲間に聞くと、単純な調書の作成に励んでいるケースがほとんどです。2年目を迎えた今年から主査を務めています。常にマネージャーがサポートをしてくださるので不安はありません。

石原 自ら学べる環境も、周囲から教わる環境も整っているわけですね。

神原 私は大学まで関西で過ごし、東京にある大手監査法人に就職し、その後転職しました。再度監査法人へ戻りたいと思った際に太陽を選択する決め手になったのは、職員の方々の多様性でした。年齢も前職も様々で、色々なチャレンジをされてきた方が大勢いるので学ぶべき点が多いです。出会いは人生の資産になると考えています。

石原 刺激となる同僚が周囲に多いことは、若い年次の時ほど成長につながると思います。

長谷川 私が太陽を選んだ理由は、東北エリアにある比較的規模が大きな監査法人の中では、職員の人数が少ない点に惹かれたからです。携われる会社が多いほど成長のチャンスも増えると思いました。現在の職員数は14人ですが、扱う案件は増えていきます。組織の成長と自分の成長がリンクしていることがモチベーションになっています。



石原 東北事務所は若い世代が増えて一層活気が生まれたと聞いています。

清澤 私はIPOに関わりたいという想いが強かったので、実績がある太陽を選びました。1年目からIPO業務に携わっていますが、上場監査を経験していたとしても、もちろんそれだけでは十分ではない点があります。ただ、太陽は2つの業務を兼務することができるので、自分の業務レベルを客観的に見直すことができます。

石原 地方にもIPO案件があると思いますが、他の皆さんは携わっていますか？

増田 私は現在2社に携わっています。

長谷川 私も増田さんと同じく2社ですね。

石原 太陽は地区事務所でもIPOに積極的です。会計士としての実力を試され、指導力を発揮していく中で成長の機会が非常に多いことは、私自身も体験済です。

神原 成長する機会の多さという点では、私が主に携わっている国際業務も同じだと思います。大阪事務所ではグローバル企業のグループ監査にも力を入れているので、国際業務に関する勉強会も随時開催されています。また、フィリピンのメンバーファームから赴任されている駐在員の方が、私たちのために英会話クラスを開いてくださっていることもトピックの一つです。

石原 素晴らしい環境ですね。私は現在、北陸事務所と東京事務所を行き来していますが、地方には東京以上に色々なチャレンジができる土壌があると感じます。それだけ会計士としての引き出しが増え、高い専門性や業務クオリティは東京と変わりません。一方で、東京事務所に転籍するという選択肢や、部門レсна働き方で得た幅広い知見をもとに独立する道もある。そうした意味でも、地方でキャリアをスタートさせることは魅力的なことだと思います。

地区だからこそ得られる働き心地

—— 地区事務所の環境や風土について教えてください。

石原 太陽の地区事務所の中では大阪は最も大所帯ですよ。働き心地はどうですか？

神原 現在はリモートワークが中心とはいえ、人と人のつながりが元々強いので安心感があります。また、大阪事務所独自の取り組みも行われています。その一つが「コミュニケーショングループ」という制度です。パートナーからスタッフまで職階が異

なる6名程度のグループを毎回つくり、月に一回オンラインで意見を交換しています。

石原 それは全国に展開したい試みですね。

神原 私からも質問したいことが。大阪事務所では全体での“朝会”が月に一度開かれていますが、皆さんの事務所も同じですか？様々な情報を交換でき、自己紹介ができるコーナーも設けられていて、非常に良い機会だと思っています。

石原 北陸事務所でも月に一度、全員で顔を合わせる機会として開催していますよ。

長谷川 東北事務所も同じで、東京事務所の朝会にも任意で参加できます。

石原 皆さんは東京で働く同期と実力差がないか気になったりしますか？

増田 私はあまり気になりません。マネジャーに直接指導を受けながら成長できる環境があることは、地区事務所ならではの感じているからです。ただ、東京事務所に比べてクライアントや事例の数は少ないので、必要な情報はマネジャーを介して共有していただいています。

神原 全国のスタッフがオンラインで一緒に受ける研修もありますよね。互いに切磋琢磨できて満足度が高いです。決して小規模ではない太陽が、全国的に手厚い指導を行っているのは素晴らしいことだと思います。

石原 ヨコのつながりがあるので、聞こうと思えば聞けますよね。その意味でも東京と地区に実力差は生まれませんよね。

長谷川 私は東京事務所の方と連携している案件があります。東京の新人と全く遜色がないと評価していただいたので不安はありません。

石原 それは自信になりますよね。主査が担当案件で東京と地区を往来したり、地区のスーパーバイザーが東京の上場会社の主査を兼務していたり、太陽は拠点間の人財交流も盛んです。

清澤 私も全く不安はありません。むしろ地区事務所に勤務して本当に良かったと思っています。リモートワークが増えたとはいえ、地区事務所では現場往査が比較的多いと思います。相談したいことがあればOJTの際に質問できますし、丁寧に直接指導していただけるので、成長を実感することができています。

石原 私は以前東京事務所のパートナーを務め、現在は北陸事務所パートナーと所長を6年兼務していますが、東京と地区に実力の差はないと自信を持って断言できます。安心してください。



太陽の魅力が濃縮されている地区事務所
—— 最後に、今後の目標について教えてください。

長谷川 現在は多くの案件にIT監査が導入されているので、そのシステムも含めて勉強し、東北事務所の第一人者になればと考えています。

石原 東京に置かれたIT監査室の指導を受けられますし、その地区で存在感を発揮できる会計士を目指すことは大賛成です。

清澤 今は目の前の業務に全力で取り組み、知識や経験を増やしていく時期だと捉えています。それを目標に掲げられるのは、同じ科目を扱うにしても携わるクライアントが異なるので、どの案件でも成長を実感できているからだと思います。

石原 一社一社をより深く理解していく上でも、名古屋は十分に手応えのある地区でしょうね。

増田 私は3年目を迎えるにあたって、様々な業務を同時並行で進められることを目標に掲げています。業務間で知識や経験を応用できる相乗効果があると思うからで、全ての業務で高いクオリティを満たせるゼネラリストになりたいと考えています。



石原 中国・四国事務所で満たすことができれば、ステージを東京に移すという選択肢もあると思います。拠点間に壁がないという太陽の良さを積極的に活用するべきです。

神原 私は現在キャリアパスを模索しているところで、パートナーにも面談の機会をいただいています。監査法人内で様々な業務に挑戦させてもらえるのはもちろん、アドバイザー等の関連会社の業務に携わる機会もあります。また、非常勤として活躍している方や退職後に戻ってくる方もいらっしゃるりと、働き方を柔軟に変えながら長く付き合っていける太陽に転職して良かったと思っています。

石原 どんな会計士やキャリアを目指したいのかは、非常に大事なことだと私は思います。受験生の方にもいえることで、理想を目指せるのはどんな監査法人なのか、就職活動では周囲に流されることなく選択してほしいですね。目標が定まらなければ、様々な業務を経験しながら見つけたいと思いますし、そうした働き方が太陽で可能なことは全国共通です。今回の座談会を通して感じたのは、地区事務所には太陽の魅力が濃縮されているということです。



法人概要

事務所

法人名称	太陽有限責任監査法人 Grant Thornton Taiyo LLC(英文名称)
総括代表社員(CEO)	山田 茂善
設立	1971年9月
本部・東京事務所	〒107-0051 東京都港区元赤坂1-2-7 赤坂Kタワー22階
TEL	03-5474-0113
FAX	03-5474-0114
URL	http://www.grantthornton.jp/aboutus/audit/

沿革

1971年9月	太陽監査法人設立
1994年10月	グラントソントンインターナショナル加盟
2006年1月	太陽監査法人とASG監査法人が合併し 太陽ASG監査法人となる
2008年7月	有限責任組織形態に移行 太陽ASG有限責任監査法人となる
2012年7月	永昌監査法人と合併
2013年10月	霞が関監査法人と合併
2014年10月	太陽有限責任監査法人に社名変更
2018年7月	優成監査法人と合併
2018年7月	本部・東京事務所を赤坂へ移転

人員構成

代表社員・社員	88名
特定社員	4名
公認会計士	304名
公認会計士試験合格者等	246名
その他専門職	181名
事務職員	89名
常勤合計	912名
契約(非常勤)職員	224名
合計	1,136名

2022年3月末現在

関与先

金融商品取引法・会社法監査	288社
金融商品取引法監査	35社
会社法監査	156社
信用金庫・信用組合監査	22社
独立行政法人監査	5社
国立大学法人監査	1社
学校法人監査	47社
社会福祉法人監査	12社
医療法人監査	6社
社団・財団・その他非営利	40社
その他の法定監査	115社
その他の任意監査	308社
合計	1,035社

2022年3月末現在

太陽グラントソントングループ会社のご紹介

太陽グラントソントン税理士法人

- 税務コンプライアンス
- 連結納税
- 税務レビュー・セカンドオピニオン
- 国際税務
- 移転価格コンサルティング
- 企業組織再編税務
- グループ企業間取引設計
- 税務訴訟
- 外国人所得税コンサルティング

太陽グラントソントン株式会社

- 資本戦略
- 株価・事業価値評価
- 海外進出・海外ビジネス支援
- 事業承継対策・国際相続・ファミリーオフィスサービス
- 公益法人コンサルティング

太陽グラントソントン・アドバイザーズ株式会社

- 財務・会計デューデリジェンス
- 企業価値評価、内部統制関連業務
- 情報システムコンサルティング
- 不正調査・フォレンジック業務
- 事業再編・再生
- 海外進出支援
- 経営コンサルティング
- 中国ビジネス・税務コンサルティング
- 情報システム導入・運用コンサルティング
- 業務改革コンサルティング
- IPO支援業務

太陽グラントソントン社会保険労務士法人

- 給与計算・労働社会保険手続アウトソーシング
- 雇用契約書・就業規則の作成支援
- 外国人労働者のコンプライアンス支援
- 日本人労働者の海外出向支援
- 企業組織再編労務の支援
- 労務監査・人事内部監査の支援
- システム構築による人事業務改善ソリューション

太陽グラントソントン・アカウンティングサービス株式会社

- 会計帳簿作成
- 月次決算および 年次決算(US基準、日本基準等)
- 銀行口座管理、支払送金業務およびWebバンキングの設定支援
- 海外本部向け報告書の作成
- 金融庁提出報告書(月次モニタリングレポート等)の作成
- 会計監査対応資料の作成
- 減価償却計算、償却資産台帳の作成

税理士法人 山田&パートナーズは、
グラントソントンのメンバーファームに加盟しているため、
当法人のネットワーク・ファームです。

Message from CEO

総括代表社員挨拶

自由が利く職業だからこそ、
限界を自分でつくらないで欲しい。



太陽有限責任監査法人
総括代表社員（CEO）

山田 茂善

環境に適応してこそ、進化を遂げられる。

経済を取り巻く環境が大きく変化しています。気候変動、コロナ禍、紛争等によって世界的に経済活動は停滞し、仮想通貨の普及といった経済取引の概念を覆す事象も起きています。しかし、私たち監査法人の使命は、過去から現在に至るまで変わりません。公共財として国民経済の発展に寄与することを命題に、今後も資本市場の健全性や公正さを保つ番人であり続ける必要があります。

ただ、自然科学者ダーウィンが唱えたように、変化する環境に適応してこそ進化を遂げられます。しかしながら、これまでの監査業界は、独占業務という傘の下で新陳代謝が活発に行われず、様々な課題が存在することも事実です。監査環境におけるテクノロジー活用の遅れ、複雑な監査手続に起因する長時間労働等の問題が指摘されています。監査業界に求められている変革を、太陽がリードする。その決意表明ともいえるのが新スローガン“Go Beyond Your Limit”です。

直訳すれば“自分の限界を超える”となりますが、限界は“自分でつくる”ことが多分にあると私は思います。組織も、個人も、限界をつくらないからこそ成長を続けられる。そんな想いを込めたスローガンであり、太陽では現在様々な変革を推進しています。

変革の見本を、監査業界に示すために。

たとえば、ICTやAI等の活用による「業務のデジタル化」です。人の手による監査から、デジタル監査への移行を目指してインフラ整備を進め、効率化や監査品質向上に繋げていきます。デジタルで可能な業務はデジタルに移行し、生まれた時間を高度な判断やクリエイティブな取り組みに割くことで、AIが持ち得ない高度な付加価値を有する会計士集団へと進化していきます。また、情報システムの導入も積極的に行うために、新たな取り組みとして始めたのがGTILの各国メンバーファームとの連携です。GTILの最高意思決定会議に参加できるトップ6に入る国として、汎用性のある最新監査システムの共有を目指した国際プロジェクトを牽引し、現在は中国・インド・オーストラリア・ポーランドと協議を重ねています。

一方で、多様な価値観や生き方に応える「働き方改革」にも取り組んでいます。太陽ではリモートワークの導入を、コロナ禍が発生する数年前から試験的に行ってきました。現在は90%以上の業務のリモート化対応が可能な状況となっています。

リモート化は会計士を時間から解放してくれます。これまで監査業界は、多くの時間をかけることで業務品質を高めてきました。その体質を改めるためにも、太陽では“時間を売る→価値を売る”への転換を図っていきます。

また、リモート化によって場所からも解放されるため、自分のオフィスを自由に選びながら業務に携わることが可能になります。監査法人として全国の主要都市に拠点を構えるという発想もなくすべきで、リフレッシュしながら働けるワークスペースを別荘地などに設置する準備も試験的に進めています。

そして、人生を変えてくれることもリモート化の恩恵です。子育てや介護等に時間を割きたい。家業との掛け持ちがしたい。副業としてお店を開きたい。そんな望みを叶えながら会計士として働けるように、週休3日制にしても構わないと私は思っています。

ただ、リモート化によって失ってはいけないと考えているのが、人と人との繋がりです。同僚やクライアントとの密なコミュニケーションは安心感や信頼関係を生む上でも非常に大切であり、リアルとリモートの最適なバランスを見極めながら改革を推進しています。

太陽監査法人は、人財育成法人でもある。

では、なぜ太陽は変革を推進できるのか。その理由は、業界の中での独特な規模感にあります。変化を見据えて環境整備を行える柔軟性も、必要な投資を充分に行える体力も持ち合わせています。また、太陽には個々の自由な成長を後押しできる環境や仕組みがあります。

その一つが、誰もが経験できるIPO業務です。通常の監査業務とは異なり、上場に向けた指導力が求められることから、成長を遂げる格好のステージとなることは間違いありません。IPOは太陽が創業時から注力してきたアイデンティティといえる業務であり、今後も上場実績で国内トップを目指していきます。

また、成長には実感が伴うことも大切であり、太陽は教育システムの拡充にも余念がありません。仮想通貨等の今後求められる専門知識も視野に入れて、多彩な研修プログラムを用意します。昨年は、従来OJT形式が中心となっていた実務の習得を可能にする画期的な新人研修（CAMP研修）を導入しましたが、シミュレーション形式によるリーダーシップ養成プログラムの開発等も現在構想中です。いずれにしても、押し付けの教育研修では成長を期待できません。学習したいことを学習できる環境づくりに努めています。

グローバルに活躍できる人財育成にも力を入れており、その機会が英語研修に留まらないことも特徴です。たとえば、世界18カ国・24拠点に展開するジャパンデスクは、育成のために用意したステージといっても過言ではありません。現地スタッフと協働する体験は、人間的にも大きな成長をもたらすでしょう。

“太陽監査法人＝人財育成法人”であると考えてください。成長実感を持てる人事評価制度や報酬体系の導入も現在検討しており、一生懸命に働く職員には年次を問わず利益を還元していきたいと考えています。

アクションを起こさないと、チャンスは掴めない。

太陽では、民間企業から金融、公的機関まで、あらゆる業界に監査を通して関わるができます。業務内容も多種多様で、コンサルティングや起業等に携わることもできますし、海外で経験を積める制度も充実しています。仕事も働き方も自由に選べる太陽を“人生のプラットフォーム”として大いに利用してください。

会計士というのは、最も自由が利く職業だと私は思います。だからこそ、どんな会計士になりたいのかイメージを持つことが大切です。そして、臆することなくチャレンジし、チャンスを掴むために自らアクションを起こしてほしいと願っています。そのためにも“Go Beyond Your Limit”。限界を自分でつくらないでください。